

2025年度 事業報告書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

学校法人 中内学園

①基本情報

【法人の名称】学校法人中内学園

【主たる事業所】兵庫県神戸市西区学園西町3丁目1番 078-794-3555(代表)

【ホームページ】学校法人中内学園 <https://gakuen.nakauchi.com/>

流通科学大学、大学院 <https://www.umds.ac.jp/>

②建学理念及び教育の特色

【建学理念】

流通を科学的に研究教育することを通じて、世界の平和に貢献し、真に豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成する。

【教育の特色】

「流通・マーケティング」を研究し、学ぶということが全学的に共通した教育の大前提であり、学部・学科・コースとも、それぞれの教育特性を活かした切り口で「流通・マーケティング」を学び、さらに常に動態化している第三次産業の市場や生活者の変化に適応でき、使える学問としての「実学」で学ぶことが本学の教育の特色である。また、2015年度、大幅なカリキュラムの改訂を行い、入学直後の半年間を自分の将来の目標を見つけるための期間とする気づきの教育(本学独自の初年次教育)を導入。2019年度のカリキュラム改訂については、「考える学習型授業」を通じた論理的思考力等の汎用的能力の育成、及び社会人としての基礎的能力の確実な修得を目指した授業改革を推進するための基盤を築くことに重点をおき実施した。

【将来に向けてのビジョン】

大学を取り巻く外部環境・内部環境の想定を超える変化の早さに対応し、本学が勝ち残るための中内学園中長期計画(N-PLAN)を、2010年度からの中長期計画である「RYUKAプラン21」において実施中の内容を包含した上で、第一次計画(2012～2014年度)を策定・実施。その後、第二次計画・第三次計画・第四次計画を策定・実施。2025年度より、「日本一自分が成長できる多文化共生キャンパス」を目指す大学像として掲げた第五次計画(2025～2029年度)を策定。“流通科学大学オンリーワン・ナンバーワンの教育力構築”を推進する。

③沿革

1979(昭和54)年	5月	中内功、流通関係の大学設立構想発表
1984(昭和59)年	3月	流通科学大学(仮称)設立事業計画策定
1985(昭和60)年	6月	流通科学大学設立準備財団設立発起人総会 中内功を設立代表者に選任
1986(昭和61)年	1月	「財団法人 流通科学大学設立準備財団」認可・登記
1987(昭和62)年	12月	学校法人中内学園 寄附行為認可及び流通科学大学認可
1988(昭和63)年	1月	学校法人中内学園設立登記
1988(昭和63)年	4月	流通科学大学 商学部(流通学科/経営学科)開設
1991(平成3)年	12月	寄附行為変更認可及び情報学部設置認可
1992(平成4)年	4月	情報学部(経済情報学科/経営情報学科)開設
1993(平成5)年	12月	寄附行為変更認可及び商学部(ファイナンス学科/サービス産業学科)設置認可
1994(平成6)年	4月	商学部(ファイナンス学科/サービス産業学科)開設
1995(平成7)年	12月	寄附行為変更認可及び大学院(流通科学研究科)設置認可
1996(平成8)年	4月	大学院(流通科学研究科 修士課程)開設
1997(平成9)年	9月	中内記念館(10周年記念事業)竣工
1997(平成9)年	12月	大学院(流通科学研究科 博士後期課程)設置認可
1998(平成10)年	4月	大学院(流通科学研究科 博士後期課程)開設
2001(平成13)年	4月	サービス産業学部(観光・生活文化事業学科/医療福祉サービス学科)開設
2005(平成17)年	3月	商学部サービス産業学科廃止
2006(平成18)年	4月	アスレチック棟(20周年記念事業)竣工
2006(平成18)年	9月	中内功記念館開設(中内記念館を改装)
2006(平成18)年	9月	流通資料館開設
2007(平成19)年	7月	講義棟6(20周年記念事業)竣工
2008(平成20)年	8月	第二クラブハウス竣工
2009(平成21)年	10月	流通科学大学野球場竣工
2010(平成22)年	4月	校歌「神戸の風は」完成
2010(平成22)年	6月	中内功記念館リニューアル

2011(平成 23)年	4月	商学部(商学科)開設 ※商学部 流通学科、経営学科、ファイナンス学科を改組 総合政策学部(総合政策学科)開設 ※情報学部 経済情報学科、経営情報学科を改組 サービス産業学部(観光学科、サービスマネジメント学科)開設 ※サービス産業学部 観光・生活文化事業学科、医療福祉サービス学科を改組 リテール科学研究所設立
2011(平成 23)年	9月	キャッシュレジスター博物館開設
2012(平成 24)年	2月	第三クラブハウス竣工
2015(平成 27)年	4月	商学部(経営学科/マーケティング学科)開設 ※商学部 商学科を改組 経済学部(経済学科/経済情報学科)開設 ※総合政策学部 総合政策学科を改組 人間社会学部(人間社会学科/観光学科/人間健康学科)開設 ※サービス産業学部 観光学科、サービスマネジメント学科を改組
2015(平成 27)年	9月	流通資料館改め、ダイエー資料館開設
2016(平成 28)年	3月	商学部流通学科及びファイナンス学科廃止
2016(平成 28)年	9月	附属図書館リニューアル
2017(平成 29)年	5月	情報学部経済情報学科廃止
2018(平成 30)年	2月	国際交流施設学生寮竣工
2018(平成 30)年	3月	商学部経営学科廃止 サービス産業学部観光・生活文化事業学科及び医療福祉サービス学科廃止
2018(平成 30)年	10月	情報学部及び情報学部経営情報学科廃止
2021(令和 3)年	3月	商学部商学科、総合政策学部総合政策学科、サービス産業学部観光学科及びサービスマネジメント学科廃止
2022(令和 4)年	8月	中内切生誕 100 年記念事業
2024(令和 7)年	4月	人間社会学部 心理社会学科開設(人間社会学科から名称変更)
2025(令和 7)年	9月	中内切記念館リニューアル キャッシュレジスター博物館移設(講義棟IV1 階)

④設置学校等

理事長 中内潤

流通科学大学

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

学 長:清水 信年

流通科学大学大学院

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

学 長:清水 信年

⑤役員及び教職員に関する情報

(2025.4.1 現在)

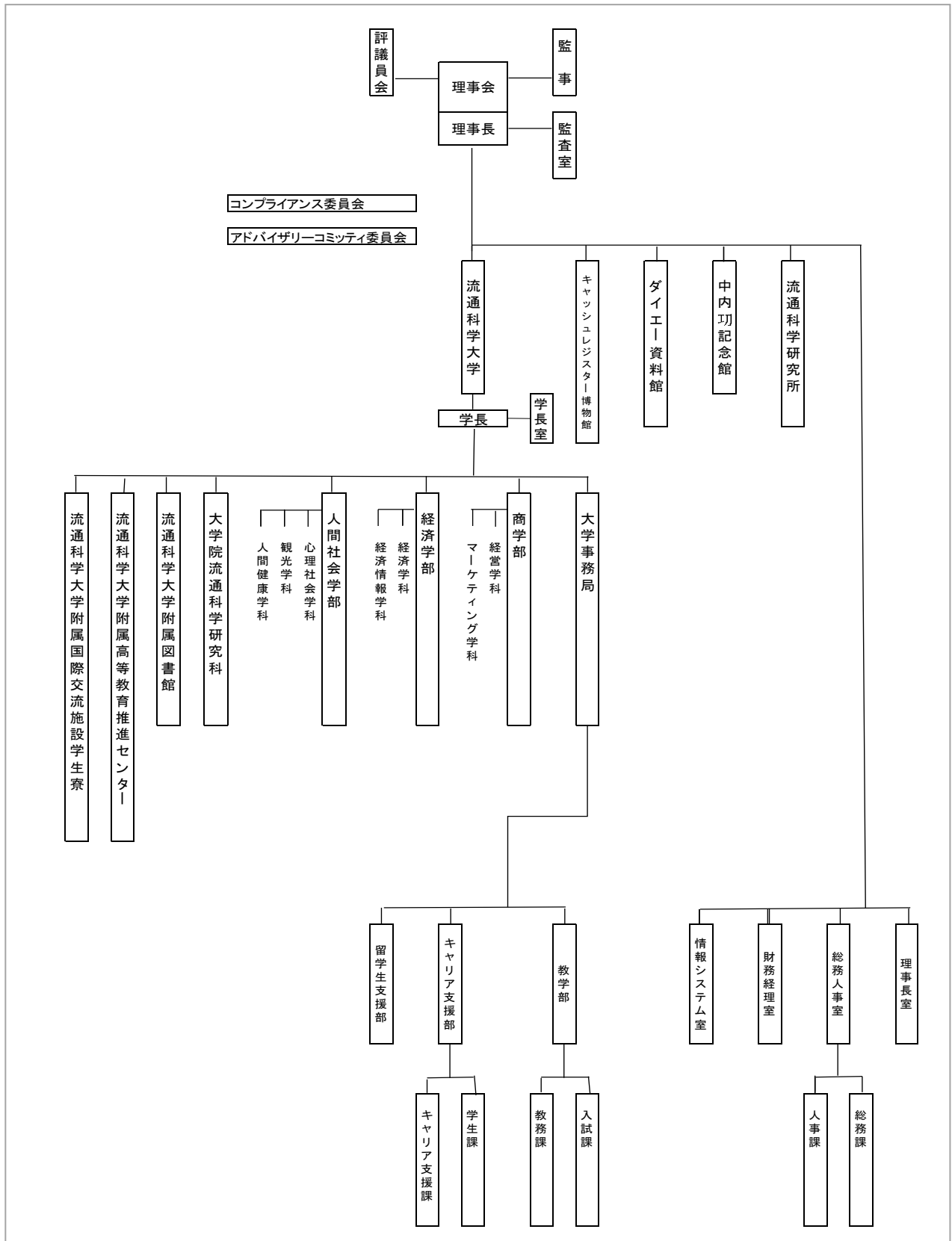
理事	7名	(うち学内理事)	4名	(うち学外理事)	3名	(定員数)	5名以上 10名以内		
監事	3名	(定員数)	2名以上 4名以内						
評議員	15名	(定員数)	11名以上 21名以内						
教員	107名	(うち教授)	56名	(うち准教授)	38名	(うち講師)	13名	(うち兼務)	33名
		平均年齢(教授)	58歳	平均年齢(准教授)	49歳	平均年齢(講師)	42歳		
職員	149名	(うち正職員)	62名						
		平均年齢(正職員)	39歳						

理事、監事、評議員(2025年5月30日現在)

		所属	役職	氏名	就任年月日	常勤・非常勤
理事	1	株式会社美十	代表取締役社長 CEO	酒井 宏彰	2024年4月1日	非常勤
	2	特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッション	顧問	田中 まこ	2023年4月1日	非常勤
	3	学校法人中内学園	理事長	中内 潤	2023年4月1日	常勤
	4	学校法人中内学園	学園長	中内 希	2020年4月1日	非常勤
	5	流通科学大学	学長	清水 信年	2024年4月1日	常勤
	6	一般社団法人 全国スーパーマーケット協会	会長	横山 清	2023年4月1日	非常勤
	7	流通科学大学	事務局長	細峪 輝行	2024年4月1日	常勤
監事	1	多聞法律事務所	弁護士	田中 久雄	2023年4月1日	非常勤
	2	学校法人中内学園	監事	山本 隆俊	2023年4月1日	非常勤
	3	中央興産株式会社	代表取締役	尤 昭福	2023年4月1日	非常勤
評議員	1	有朋会(流通科学大学同窓会)	副会長	茨木 耕司	2014年4月1日	
	2	株式会社 Cheerful.	代表取締役	岩佐 美千子	2022年4月1日	
	3	株式会社エムズブランディング	代表取締役社長	鶴殿 麻里絵	2023年4月1日	
	4	有朋会(流通科学大学同窓会)	会長	岡本 一展	2015年11月1日	
	5	ゆう税理士事務所	代表・税理士	小林 優子	2020年4月1日	
	6	流通科学大学	経済学部教授	澤田 清	2024年4月1日	
	7	流通科学大学	経済学部教授	八木 雅史	2024年4月1日	
	8	株式会社みなと銀行	代表取締役社長	持丸 秀樹	2025年5月30日	
	9	株式会社淡路屋	代表取締役社長	寺本 督	2020年4月1日	
	10	株式会社インターウィズダム	代表取締役	中間 徳子	2023年4月1日	
	11	流通科学大学	事務局長	細峪 輝行	2024年4月1日	
	12	流通科学大学	商学部教授	福田 司文	2010年4月1日	
	13	六甲バター株式会社	取締役会長	三宅 宏和	2023年4月1日	
	14	株式会社中新ビル	代表取締役社長	門 日勳	2014年4月1日	
	15	播州信用金庫	理事長	和田 長平	2005年4月1日	

・責任免除等について・・・「責任限定契約書に記載するあらかじめ定めた額」について、2020年4月7日決議

⑥学校法人の組織図(2025.4)



⑦会計監査人の概要

- 1.名称:有限責任監査法人トーマツ
- 2.就任年月日:2025年5月30日
- 3.責任免除に関する決議等、責任限定契約:該当事項なし

⑧理事選任機関の概要

理事選任機関として、理事会と理事選任委員会を置く。理事会においては全ての理事が構成員であり、理事選任委員会では理事からの互選された2名と評議員からの互選された5名の計7名を構成員とする。

⑨法人が関連する会社

1. 会社名 流科サービス株式会社
2. 事業内容 学内のコンビニエンスストア経営、教職員及び学生用パソコン・システムサポート、自動販売機の管理、袴レンタル 等
3. 決算状況 総資産 49,269 千円、純資産 43,192 千円、資本金 10,000 千円(中内学園 100%出資)
売上高 54,306 千円、営業利益 4,723 千円、経常利益 4,829 千円 (2025 年度)
なお、コンビニエンスストアは FC 契約に基づく店利益を、売上高に算入。
4. 従業員数等 取締役 1 名、従業員 25 名(内訳:正社員 4 名、ローソククルー及びアルバイト 21 名)

(1) 中長期計画および2025年度事業計画の進捗・達成状況

<「中内学園中長期計画（第五次）2025～2029年度」の進捗・達成状況>

1. 教学

・個性主義の実践に向けた教育改革

⇒卒業生の「授業・カリキュラム全体に対する満足度」78.3%（前年度68.5%）

⇒初年次教育専門部会のもとに「基礎能力分科会」、「日本語教育分科会」、「自己発見とキャリア開発分科会」を設置し、教育改革に向けた議論を実施

・夢の種プロジェクトの進化・グローバル化

⇒留学生教育の深化に向けて留学生教育専門部会を立ち上げ、クラス編成や時間割編成の見直し案策定

⇒留学生就職促進プログラム「アジアビジネス人材育成プログラム」履修者の修了率87.5%

⇒ゼミ教員との教職協働での就職サポート（ゼミ訪問、面接練習、就職内定状況調査）

・募集力の強化（日本人・留学生）に向けた適切な募集チャネルの開拓

⇒2026年度入学者数999名（前年度844名）。内訳：日本人592名、留学生407名

・クラブ・サークル等の課外活動の活性化

⇒学生募集における実績、全国的な競技人口、競技レベル、練習環境、将来的な可能性、そして指導・スカウティング体制の6つの基準を総合的に評価し、体育会系クラブ5団体を重点クラブとして選出。2026年度より試験的に運用が開始できるよう、設備面や支援体制、指導者配置等の環境を整備していく

・退学除籍者数の改善

⇒退学・除籍率5.0%、退学・除籍者数175名（前年度4.0%、144名）

・学生満足度向上に向けた内部質保証システムの更なる推進

⇒学生の学修成果の可視化に向けて、本学のディプロマ・ポリシーと現在導入しているアセスメントテスト（PROG）の対応表の改訂を実施

・大学院の活性化

⇒修士課程の入学者数21名（前年度20名）、博士後期課程の入学者数2名（前年度0名）

・ルール・マナー教育

⇒入学直後の新入生オリエンテーションにて学生生活ガイダンスを実施し、キャンパスルールおよびマナーについて、新入生全員に周知。2025年度入学生の禁煙誓約書受け取り率100%

2. 人事

- ・夢の種プロジェクトの進化に向けた多様な人材の育成・確保

⇒<教員>採用における採用プロセスを見直し、計6期での採用活動により12名の教員を採用・入職
<職員>新卒採用については採用者なし。中途採用にて2名採用・入職

- ・教職員一丸となった大学運営

⇒全体SD研修を2回開催し、専任教職員の参加率100%

3. 施設設備

- ・夢の種プロジェクトの進化に対応したメリハリのある各種機器や設備のメンテナンス

⇒学生が個人所有PC端末を持ち込み授業で活用(BYOD)できる環境の整備に向けて、検証完了

⇒無線LAN(Wi-Fi)関連機器のリプレイスを実施し、通信環境安定化

- ・DX推進体制の整備

⇒専任教職員の情報セキュリティ研修受講率100%

⇒新入生向け情報セキュリティ、リテラシー教育資料を作成

4. 財務

- ・教学・人事・施設設備の大目標達成に向けた経費コントロール

⇒人件費比率(人件費/経常収入)47.0%(前年度47.2%)

教育研究経費比率(教育研究経費/経常収入)51.3%(前年度46.8%)

管理経費比率(管理経費/経常収入)12.0%(前年度11.8%)

経常収支差額比率(経常収支差額/経常収入)△10.3%(前年度△5.8%)

2025年度単年度のキャッシュフローは△299,260,693円(前年度142,594,718円)

経常収支差額は△475,550,190円(前年度△268,131,489円)

- ・投資項目のインパクトの可視化

⇒投資の選択と集中に向け、業務の「ムダ・ムリ・ムラ」の抑制に向けたコスト意識の醸成

5. 広報

- ・大学認知度向上に向けた取り組みの実施

⇒新聞・WEB・SNS等の他社コンテンツにて116件記事掲載

⇒中内功記念館改装、キャッシュレジスター博物館移設等を行い、本学のステークホルダーに案内。建学の理念や流通革命に触れることができる展示空間を整備

- ・40周年記念事業

⇒2026年度に計画立案、2027年度に各種企画実行準備、40周年を迎える2028年度に周年事業実施予定

<2025 年度事業計画 達成状況>

※2025 年度事業は、「中内学園中長期計画（2025～2029 年度）」の重点項目に基づく、単年度の事業計画であり、個性主義の教育改革によるオンリーワン・ナンバーワンの教育力構築と大学の国際化を目指した教学の強化および多様性の推進を実現するためのものです。

【大学部門】

・個性主義の実践に向けた教育改革

⇒卒業生の「授業・カリキュラム全体に対する満足度」78.3%（前年度 68.5%）

⇒初年次教育専門部会のもとに「基礎能力分科会」、「日本語教育分科会」、「自己発見とキャリア開発分科会」を設置し、教育改革に向けた議論を実施

⇒オンデマンドと対面を併用しながら、学習習慣の継続や学びなおし、基礎学力アップにつなげる内容の入学前課題を課す等、入学前教育プログラムの再構築を行った

⇒2026 年度からの研究演習実質必修化に向け、研究演習 HP の作成、ゼミ選択時の掲示資料の見直し、希望調査などを行い、ゼミのミスマッチを減らす施策を実施

・夢の種プロジェクトの進化・グローバル化

⇒「考える学習型授業」の進化と成績評価の見直しを目的とし、「教育の質保証」をテーマにした FD 研修を計 4 回実施

⇒留学生教育の深化に向けて留学生教育専門部会を立ち上げ、クラス編成や時間割編成の見直し案策定

⇒留学生就職促進プログラム「アジアビジネス人材育成プログラム」履修者の修了率 87.5%

⇒ゼミ教員との教職協働での就職サポート（ゼミ訪問、面接練習、就職内定状況調査）

⇒地元就職先企業の求人開拓のため、兵庫県および大阪府本社企業 570 社と情報交換・関係構築

⇒2025 年度就職率 98.5%（前年度 98.5%）

・募集力の強化（日本人・留学生）に向けた適切な募集チャネルの開拓

⇒2026 年度入学者数 999 名（前年度 844 名）。内訳：日本人 592 名、留学生 407 名

<日本人>授業体験型入試の告知を強化し、オープンキャンパス来場者（前年度比 106.7%）や実志願者数（前年度比 109.8%）が増加

<留学生>国際情勢の変化により、海外現地からの出願数が大幅に減少したが、国内日本語学校からの出願者数は堅調な結果となり、留学生入試全体では、前年度を上回った

・クラブ・サークル等の課外活動の活性化

⇒学生募集における実績、全国的な競技人口、競技レベル、練習環境、将来的な可能性、そして指導・スカウティング体制の 6 つの基準を総合的に評価し、体育会系クラブ 5 団体を重点クラブとして選出。

2026 年度より試験的に運用が開始できるよう、設備面や支援体制、指導者配置等の環境を整備していく。

⇒UNIVAS SSC 認証取得。HP 等にて広報し、課外活動団体加入者が安全・安心して活動できる体制を整備

・退学除籍者数の改善

⇒退学・除籍率 5.0%、退学・除籍者数 175 名（前年度 4.0%、144 名）

1 年生の退学・除籍者数 25 名（前年度 25 名）

直近 3 年間のデータ分析を行い、退学・除籍者の受験した入試制度や出身高校、単位修得状況の傾向を把握するとともに、退学検討時期についても調査を行った

・学生満足度向上に向けた内部質保証システムの更なる推進

⇒学生の学修成果の可視化に向けて、本学のディプロマ・ポリシーと現在導入しているアセスメントテスト（PROG）の対応表の改訂を実施

⇒2026年度より教育審議会の諮問機関として教学マネジメント専門部会を新たに設置

・大学院の活性化

⇒修士課程の入学人数 21 名（前年度 20 名）、博士後期課程の入学人数 2 名（前年度 0 名）

大学院修士課程から博士後期課程への（内部）進学促進を強化し、3 年ぶりに博士後期課程で入学あり

・ルール・マナー教育

⇒入学直後の新入生オリエンテーションにて学生生活ガイダンスを実施し、キャンパスルールおよびマナーについて、新入生全員に周知。2025年度入学生の禁煙誓約書 受け取り率100%

⇒学生寮の入寮者には、学生寮のルール・マナーを周知徹底し、違反した学生には個別面談を実施するとともにペナルティを含めた指導を実施

【法人部門】

・夢の種プロジェクトの進化に向けた多様な人材の育成・確保

⇒＜教員＞採用における採用プロセスを見直し、計 6 期での採用活動により 12 名の教員を採用・入職

＜職員＞新卒採用については採用者なし。中途採用にて 2 名採用・入職

⇒基幹教員導入に向けた制度整備を検討継続

・教職員一丸となった大学運営

⇒事務職員向けの長期的かつ計画的な研修内容を策定し、私大連（外部）研修や人事（学内）研修など多彩な研修プログラムを用意し周知

⇒全体 SD 研修を 2 回開催し、専任教職員の参加率 100%

・夢の種プロジェクトの進化に対応したメリハリのある各種機器や設備のメンテナンス

⇒学生が個人所有 PC 端末を持ち込み授業で活用（BYOD）できる環境の整備に向けて、検証完了

⇒無線 LAN（Wi-Fi）関連機器のリプレースを実施し、通信環境安定化

⇒セキュリティ体制の見直し（セキュリティ付き USB メモリの導入検討、情報資産管理台帳作成完了）

・DX 推進体制の整備

⇒専任教職員の情報セキュリティ研修受講率 100%

⇒2026 年度末の各事務システムのリプレースに向けて、導入システムおよびスケジュールを確定

⇒新入生向け情報セキュリティ、リテラシー教育資料を作成

・ 教学・人事・施設設備の大目標達成に向けた経費コントロール

⇒人件費比率（人件費／経常収入）47.0%（前年度47.2%）

教育研究経費比率（教育研究経費／経常収入）51.3%（前年度46.8%）

管理経費比率（管理経費／経常収入）12.0%（前年度11.8%）

経常収支差額比率（経常収支差額／経常収入）△10.3%（前年度△5.8%）

2025年度単年度のキャッシュフローは△299,260,693円（前年度142,594,718円）

経常収支差額は△475,550,190円（前年度△268,131,489円）

・ 投資項目のインパクトの可視化

⇒投資の選択と集中に向け、業務の「ムダ・ムリ・ムラ」の抑制に向けたコスト意識の醸成

・ 大学認知度向上に向けた取り組みの実施

⇒新聞・WEB・SNS等の他社コンテンツにて116件記事掲載

⇒四国エリアにてオープンキャンパス来場促進に向けたコマース実施

⇒中内功記念館改装、キャッシュレジスター博物館移設等を行い、本学のステークホルダーに案内。建学の理念や流通革命に触れることができる展示空間を整備

・ 40周年記念事業

⇒2026年度に計画立案、2027年度に各種企画実行準備、40周年を迎える2028年度に周年事業実施予定

(2) 教育研究の概要

①「卒業認定・学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れ方針」(2025.5月現在)

流通科学大学

「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy>

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy2021>

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy2024/>

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy2025/>

「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-curriculum-policy>

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-curriculum-policy2021>

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-curriculum-policy2024/>

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-curriculum-policy2025/>

「入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)」

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-admission-policy>

流通科学大学大学院

「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」

<https://www.umds.ac.jp/academics/graduate-school/g-diploma-policy/>

「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」

<https://www.umds.ac.jp/academics/graduate-school/g-curriculum-policy/>

「入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)」

<https://www.umds.ac.jp/academics/graduate-school/g-admission-policy/>

②教育研究上の基本となる組織に関する情報(2025.5.1 現在)

学部	学科	コース
商学部	経営学科	経営戦略コース
		起業・事業承継コース ※2021年度より
		グローバル経営コース ※2019年度より
		ビジネスリーダーコース ※2019年度より2020年度まで
		会計コース
	フードビジネスコース ※2025年度より	
マーケティング学科	ブランド戦略コース ※2019年度より	
	流通ビジネスコース ※2019年度より	
経済学部	経済学科	現代経済コース
		地域まちづくりコース
	経済情報学科	経済情報コース ※2024年度まで
		データサイエンスコース ※2025年度より
	情報システムコース	
人間社会学部	心理社会学科	社会文化コース ※2019年度より
		心理コース
	観光学科	観光事業コース
		ホテル・ブライダルコース
	人間健康学科	スポーツマネジメントコース ※2019年度より
		スポーツ健康コース
研究科		課程
流通科学研究科		流通科学専攻(修士課程)(博士後期課程)

③教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報(2025.5.1 現在)

流通科学大学

学部	学科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数	うち 博士学位 取得者数	うち 修士学位 取得者数	うち 産業界 出身者数
商学部	経営学科	25	15	9	1	17	8	6
	マーケティング学科	20	7	8	5	13	7	5
経済学部	経済学科	18	11	6	1	8	10	4
	経済情報学科	8	4	2	2	6	2	2
人間社会学部	心理社会学科	12	7	5	0	8	4	4
	観光学科	11	6	4	1	3	8	3
	人間健康学科	13	6	4	3	6	7	1

流通科学大学大学院

研究科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数
流通科学研究科	26	21	5	0

※流通科学研究科教員については、大学と兼任

④学生に関する情報

<入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)>

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-admission-policy>

<2025年度 入学生数>

流通科学大学

学部	募集定員	入学者数
商学部	370名	334名
経済学部	280名	235名
人間社会学部	250名	275名
学部計	900名	844名

流通科学大学大学院

研究科	課程	募集定員	入学者数
流通科学研究科	修士課程	20名	20名
	博士後期課程	5名	0名
大学院計		25名	20名

総合計	925名	864名
-----	------	------

<学部及び収容定員・学生数の状況(2025.5.1現在)>

流通科学大学

学部	収容定員	学生数
商学部	1,720名	1,585名
経済学部	880名	907名
人間社会学部	1,000名	1,005名
学部計	3,600名	3,497名

流通科学大学大学院

研究科	課程	収容定員	学生数
流通科学研究科	修士課程	40名	45名
	博士後期課程	15名	5名
大学院計		55名	50名

<収容定員充足率(毎年度5月1日現在)>

	2025年度	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度
流通科学大学	97.1%	100.7%	103.6%	106.6%	108.0%
流通科学大学 大学院	90.9%	96.4%	83.6%	63.6%	65.5%

< 学生数 - 内訳 (2025.5.1 現在) >

流通科学大学

区 分		1 学年			2 学年			3 学年			4 学年						合 計		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	うち 留年	女子	うち 留年	合計	うち 留年	男子	女子	合計
商学部	経営学科	166	69	235	182	54	236	175	66	241	222	32	63	8	285	40	745	252	997
	マーケティング学科	61	38	99	92	46	138	84	59	143	158	28	50	5	208	33	395	193	588
	学部計	227	107	334	274	100	374	259	125	384	380	60	113	13	493	73	1140	445	1585
経済学部	経済学科	128	31	159	115	28	143	106	16	122	152	26	22	3	174	29	501	97	598
	経済情報学科	65	11	76	81	7	88	58	10	68	61	4	16		77	4	265	44	309
	学部計	193	42	235	196	35	231	164	26	190	213	30	38	3	251	33	766	141	907
人間社会学部	人間社会学科	64	31	95	56	30	86	54	41	95	49	8	31	3	80	11	223	133	356
	観光学科	27	55	82	32	43	75	21	41	62	26	3	41	2	67	5	106	180	286
	人間健康学科	86	12	98	61	14	75	82	14	96	77	7	17		94	7	306	57	363
	学部計	177	98	275	149	87	236	157	96	253	152	18	89	5	241	23	635	370	1005
全学部計		597	247	844	619	222	841	580	247	827	745	108	240	21	985	129	2541	956	3497

流通科学大学大学院

区 分		1 学年			2 学年			3 学年			4 学年						合 計		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	うち 留年	女子	うち 留年	合計	うち 留年	男子	女子	合計
流通科学研究科	修士課程	12	8	20	17	8	25										29	16	45
	博士後期課程							4	1	5							4	1	5
大学院計		12	8	20	17	8	25	4	1	5							33	17	50
総合計		609	255	864	636	230	866	584	248	832	745	108	240	21	985	129	2574	973	3547

< 卒業生数・就職者数・進学者数 >

流通科学大学

学部	学科	2025年度 卒業生数	卒業生数 累計	2025年度 就職者数	2025年度 進学者数
商学部	流通学科	-	5,046	-	-
	経営学科(旧)	-	4,265	-	-
	ファイナンス学科	-	1,619	-	-
	サービス産業学科	-	815	-	-
	商学科	-	1,244	-	-
	経営学科	231(16)	1,715	165(5)	6(0)
	マーケティング学科	163(9)	1,255	113(1)	6(0)
	計	394(25)	15,959	278(6)	12(0)
経済学部	経済学科	143(6)	1,058	117(4)	3(0)
	経済情報学科	60(0)	388	50(0)	2(0)
	計	203(6)	1,446	167(4)	5(0)
人間社会学部	人間社会学科	-	499	-	-
	心理社会学科	64(3)	178	49(1)	4(0)
	観光学科	59(1)	490	47(1)	2(0)
	人間健康学科	85(2)	677	74(1)	0(0)
	計	208(6)	1,844	170(3)	6(0)
情報学部	経済情報学科	-	2,663	-	-
	経営情報学科	-	2,882	-	-
	計	-	5,545	-	-
総合政策学部	総合政策学科	-	522	-	-
	計	-	522	-	-
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科	-	1,257	-	-
	医療福祉サービス学科	-	1,138	-	-
	観光学科	-	213	-	-
	サービスマネジメント学科	-	506	-	-
	計	-	3,114	-	-
学部計		805(37)	28,430	615(13)	23(0)

※2025年度卒業生数のうち、()の数字は9月卒業者数

流通科学大学大学院

学位	修士課程				博士課程			
	2025年度 卒業生数	卒業生数 累計	2025年度 就職者数	2025年度 進学者数	2025年度 卒業生数	卒業生数 累計	2025年度 就職者数	2025年度 進学者数
流通科学	21(1)	412	8(1)	2(0)	0(0)	17	0(0)	0(0)

※2025年度卒業生数のうち、()の数字は9月卒業者数

2025年度 主な就職先 ※業種・分野毎五十音順

建設・不動産	(株)一条工務店		<アパレル>		<旅客運輸(航空・鉄道等)>	
	(株)エイブル		青山商事(株)	東証プライム	ANAエアポートサービス(株)	
	住友不動産ステップ(株)		(株)アダストリア		ANA大阪空港(株)	
	セキスイハイム近畿(株)		(株)ロフトマン		ANA関西空港(株)	
	美樹工業(株)	東証スタンダード	(株)ワールド	東証プライム	近江鉄道(株)	
	三菱地所コミュニティ(株)		<自動車・バイク等販売>		神戸エアポートアビエーションサービス(株)	
製造	カネテツペリカフーズ(株)		(株)神戸マツダ		西日本旅客鉄道(株)	東証プライム
	川崎重工業(株)	東証プライム	島根トヨタ自動車(株)		広島電鉄(株)	東証スタンダード
	キング醸造(株)		(株)スズキ自販兵庫		<物流>	
	(株)神戸製鋼所	東証プライム	ネットヨタ兵庫(株)		イオングローバルSCM(株)	
	(株)シュゼット・ホールディングス		兵庫ダイハツ販売(株)		センコー(株)	東証プライム
	(株)PILLAR	東証プライム	兵庫日産自動車(株)		トナミ運輸(株)	
	ぼんち(株)		(株)ホンダモビリティ近畿		三菱商事ロジスティクス(株)	
	丸大食品(株)	東証プライム	(株)リパティ		山村ロジスティクス(株)	
	(株)ロック・フィールド	東証プライム	<その他小売>		イオンデライト(株)	
	商社・卸売	石黒メディカルシステム(株)		(株)アルベン	東証プライム	オリックス・ホテルマネジメント(株)
伊丹産業(株)			(株)ゲオホールディングス	東証プライム	(株)カトープレジャーグループ	
(株)ウチダシステムズ			コーナン商事(株)	東証プライム	(株)新神戸ホールディング (ANAクラウンプラザホテル神戸)	
加藤産業(株)		東証プライム	(株)コスモス薬品	東証プライム	東急リゾート&ステイ(株)	
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)		東証プライム	(株)コメリ	東証プライム	(株)兵衛旅館	
ダイワボウ情報システム(株)			(株)スギ薬局		(株)ホテルニューアワジ	
(株)トーホー		東証プライム	DAIWA CYCLE(株)	東証グロース	(株)ラスイート	
トヨタモビリティパーツ(株)			(株)ニトリ	東証プライム	リゾートトラスト(株)	東証プライム
(株)西原商会			(株)ビックカメラ	東証プライム	(一財)関西電気保安協会	
ホンザキ阪神(株)			(株)富士薬品	東証プライム	クラブツーリズム(株)	
宮野医療器(株)			(株)ヨドバシカメラ	東証プライム	(生協)コープこうべ	
ユーシーシーコーヒーブプロフェッショナル(株)			(株)ローソン		ジィ・アンド・ジィ(株)	
リコージャパン(株)			<銀行>		(株)テレビ宮崎	
ワタキューセイモア(株)			(株)但馬銀行		西尾レントオール(株)	
情報・通信	(株)JIC	東証スタンダード	(株)中国銀行		日本郵便(株)	
	(株)ウインクス		(株)百十四銀行	東証プライム	(株)日本旅行	
	コベルコソフトサービス(株)		(株)みなと銀行		(株)姫路ヴィクトリーナ	
	トランスコスモス(株)	東証プライム	(株)ゆうちょ銀行	東証プライム	姫路商工会議所	
	(株)日本ビジネスデータプロセッシングセンター		<証券>		<市役所(役場)>	
小売	(株)フジ・データ・システム		岡三証券(株)	東証プライム	三木市役所	
	<スーパー>		丸三証券(株)	東証プライム	<警察>	
	イオンリテール(株)		<保険>		大阪府警察本部	
	オーケー(株)		第一生命保険(株)		高知県警察本部	
	(株)関西フードマーケット		<その他、信用金庫・農協など>		兵庫県警察本部	
	(株)さとう		尼崎信用金庫		広島県警察本部	
	(株)G-7ホールディングス	東証プライム	加古川市南農業協同組合		<消防>	
	(株)ダイエー		近畿産業信用組合		明石市消防局	
	大黒天物産(株)	東証プライム	神戸信用金庫		大阪市消防局	
	(株)トライアルホールディングス	東証グロース	但陽信用金庫		加古川市消防本部	
	(株)ハローズ	東証プライム	西兵庫信用金庫		北はりま消防組合	
	(株)フジ	東証プライム	日新信用金庫		京都市消防局	
	(株)マルアイ		播州信用金庫		神戸市消防局	
	(株)マルハチ		姫路信用金庫		名張市消防本部	
(株)万代		兵庫信用金庫		<その他>		
(株)ロピア	東証プライム	兵庫六甲農業協同組合		防衛省自衛隊(幹部候補生)		

⑤教育課程に関する情報

<授業科目及び単位数>

※大学ホームページにて公開(PDF ファイルのダウンロード可)

<シラバス(講義概要)>

※大学ホームページにて公開

⑥学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関する情報

流通科学大学

学部	学科	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
商学部	経営学科	4年	124	学士(経営学)
	マーケティング学科		124	学士(マーケティング学)
経済学部	経済学科		124	学士(経済学)
	経済情報学科		124	学士(経済情報学)
人間社会学部	心理社会学科		124	学士(心理社会学)
	観光学科		124	学士(観光学)
	人間健康学科		124	学士(人間健康学)

流通科学大学大学院

研究科	課程	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
流通科学研究科	修士課程	2年	30	修士(流通科学)
	博士後期課程	3年	12	博士(流通科学)

⑦学習環境に関する情報

流通科学大学・流通科学大学院

キャンパス	学部・研究科	所在地	主な交通手段
流通科学大学キャンパス	商学部	神戸市西区学園西町3-1	神戸市営地下鉄 西神山手線「学園都市駅」 下車北へ徒歩7分
	経済学部		
	人間社会学部		
	流通科学研究科		

<キャンパスの概要>



- | | | |
|----------------|----------------------------|-------------------------|
| 1. ベルタワー | 9. ダイエー資料館 | 17. 学生専用駐車場 |
| 2. 附属図書館 | 10. 講義棟2、研究棟2 | 18. RYUKA HALL |
| 3. メディアセンター | 11. 講義棟3、研究棟3 | 19. ローソン流科大実習店 |
| 4. 本部棟(事務局・受付) | 12. 保健室 | 20. RYUKA DINING(レストラン) |
| 5. 中内功記念館 | 13. 講義棟5、研究棟5 | 21. テニスコート |
| 6. 中庭 | 14. クラブハウス | 22. 人工芝グラウンド |
| 7. 講義棟1、研究棟1 | 15. アスレチック棟 | 23. 西グラウンド |
| 8. 大学院 | 16. 講義棟6(キャリア支援部・留学生支援部など) | 24. 国際交流施設学生寮 |



ベルタワー(1)



中内功記念館(5)



中庭 (6)



アスレチック棟(15)



講義棟 6(16)



RYUKA DINING(レストラン)(20)

<運動施設の概要>

・アスレチック棟

スポーツの振興を通じて課外活動の活性化及び地域交流の推進を目指し、本学 20 周年記念事業の一環として建設し、2006 年 4 月に竣工。



・流通科学大学野球場

両翼 100 メートル、中堅 122 メートル、外野に人工芝を配した野球場で、主に硬式野球部、軟式野球部などの活動に利用。



・グラウンド

人工芝グラウンドと西グラウンドの 2 面あり、授業および体育系を中心とした課外活動団体が利用。



<課外活動の状況>

課外活動の目的: 課外活動を通して、自主性・協調性・リーダーシップを学び取り、また生涯続く友人関係のネットワークを築き上げるとともに、体力・技術・メンタルを鍛える。

クラブ・サークル加盟団体: 4 の独立団体と 26 の体育会系クラブと 15 の文化会系クラブ、また 3 の体育会系、5 の文化会系サークルもあり、2,396 名の在学生在が何らかの課外活動団体に所属している。

⑧ 学生納付金に関する情報

流通科学大学

項目		入学時	後期(9月)	納付額
初年度 のみ	入学金	200,000円	—	200,000円
	受託徴収金	教育後援会入会金	—	10,000円
		学生教育研究災害傷害保険料	4,140円	—
学費	授業料	400,000円	400,000円	800,000円
	施設設備維持拡充費	50,000円	50,000円	100,000円
	教育充実費	50,000円	50,000円	100,000円
	受託徴収金	教育後援会費	42,000円	—
合計		756,140円	500,000円	1,256,140円

<2年目以降の納付金>		前期(4月)	後期(9月)	納付額
学費	授業料	400,000円	400,000円	800,000円
	施設設備維持拡充費	70,000円	70,000円	140,000円
	教育充実費	60,000円	60,000円	120,000円
	受託徴収金	教育後援会費	42,000円	—
合計		572,000円	530,000円	1,102,000円

<入学時までに必要な費用>

一次手続費用 (入学金)	二次手続費用 (前期授業料等)
200,000円	556,140円

入試方式によっては、合格後の入学手続をする場合、一括(入学金、前期納付金)での納付となる。
2年次編入の場合、学生教育研究災害傷害保険料は3,230円(3年間分)、3年次編入の場合は2,170円(2年間分)となる。

- 授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。
- 2年目以降の納付金は、前期および後期納付金。
- 学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で通知する。
- 各締切日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと扱う。
- いったん納入された入学金、書類などは、いかなる場合も返還しないこととする。

項目		納付額		
		修士課程	博士後期課程	
初年度 のみ	入学金		300,000円	300,000円
	受託徴収金	学生教育研究災害傷害保険料	2,170円	3,230円
	初年度のみ 合計		302,170円	303,230円
前期	前期授業料		320,000円	320,000円
	前期教育充実費		50,000円	50,000円
	受託徴収金	教育後援会費	30,000円	30,000円
	前期納付金 合計		400,000円	400,000円
入学時納付金 合計		702,170円	703,230円	
後期	後期授業料		320,000円	320,000円
	後期教育充実費		50,000円	50,000円
後期納付金 合計		370,000円	370,000円	
納付金合計		1,072,170円	1,073,230円	

2年目以降の納付金		前期(4月)	後期(9月)	
前期	前期授業料		320,000円	320,000円
	前期教育充実費		50,000円	50,000円
	受託徴収金	教育後援会費	30,000円	30,000円
前期納付金 合計		400,000円	400,000円	
後期	後期授業料		320,000円	320,000円
	後期教育充実費		50,000円	50,000円
後期納付金 合計		370,000円	370,000円	

- 本大学学部卒業後、大学院修士課程に入学する者、及び本大学院修士課程終了後、博士後期課程に入学する者は、その入学金を全額免除する。
- 授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。
- 学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で通知する。

⑨ 学生支援と奨学金に関する情報

< 学生支援組織 >

学生支援	組織名	機能
就職支援	キャリア支援部 キャリア支援課 留学生支援部	<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス ・留学生就職ガイダンス ・個別面談・面接トレーニング ・グループワーク、グループディスカッション練習 ・就職対策宿泊セミナー ・就職父母懇談会 ・就活アドバイザー・チューター制度 ・業界研究セミナー、学内企業説明会 ・SPI対策講座、SPI対策模擬試験 ・Uターン就職支援
進学支援	教学部教務課	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院入試制度の紹介等
学修支援	教学部教務課 留学生支援部(低単位面談のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件、単位修得状況、履修計画など学修・成績などに関する相談受付(随時)、低単位取得者面談 ・学修相談会(年4回程度)
生活支援 (住居・アルバイト等)	キャリア支援部学生課 留学生支援部	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産会社の紹介(下宿) ・掲示板を通じてのアルバイト紹介
経済支援	キャリア支援部学生課 留学生支援部	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人学生・留学生・帰国生徒・大学院生対象の各種奨学金紹介 ・学費延納手続き
保健・衛生・メンタルヘルス等	キャリア支援部学生課 (保健室) (学生支援室)	<ul style="list-style-type: none"> (保健室) ・学校医による定期的な健康相談(内科医、精神科医) ・健康相談 ・怪我、体調不良の際の応急手当、病院の紹介等 ・健康教育(喫煙、食生活、アルコール、ドラッグ、日常生活リズムなど) ・保険加入、請求手続き ・健康診断 ・健康診断後の精密検査勧奨、再検査(尿、血圧、内科診察) (学生支援室) ・臨床心理士による心の相談やスキルトレーニング・大学適応のための居場所づくり等 ・障がいや病気による修学上の相談

<奨学金>

『日本人学生対象の奨学金制度』

「中内学園特別奨学金」

(資格) 2年次以上の学部学生で、学業成績基準・学業成績以外基準の両方を満たし、選考を通過した者

- ・各学年 10 名以内
- ・他の奨学金との重複受給可能

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間

(金額) 20 万円(年額)

(2025 年度実績) 2 年生 10 名、3 年生 10 名、4 年生 4 名

「下宿サポート奨学金」

(資格)・入学前に賃貸借契約を締結し、下宿することが決定している者

(賃貸借契約書締結の日付は 3 月 31 日までとし、入学手続き締切日までに事前申込書を提出)

- ・入学後に申請書を提出した者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 10 万円

(2025 年度実績) 57 名

(備考) 外国人留学生対象の入試は除く全入試方式対象

「沖縄特別奨学金」

(資格)・父母等の住居が沖縄県にある者(入学手続き締切日までに事前申込書を提出)

- ・入学後に申請書を提出した者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 20 万円

(備考) 外国人留学生対象の入試は除く全入試方式対象

「一般入試(前期 2 科目型)(中期 2 科目型)奨学金」(2022 年度入学生・2023 年度入学生・2025 年度入学生)

(資格)一般入試(前期 2 科目型)(中期 2 科目型)成績上位者

2022～2023 年度入学生: (1 年次) 入試成績上位各 10 名

(2 年次以降) 一定の成績条件をクリアした者

2025 年度入学生: (1 年次)入試成績上位各 20 名

(支給方法) 減免

(支給期間) 2022～2023 年度入学生:4 年間 ※毎年審査

2025 年度入学生:入学年度(初年度)の 1 年間のみ

(金額) 2022～2023 年度入学生:38 万 5 千円

2025 年度入学生:80 万円

(2025 年度実績) 38 万 5 千円・・・3 年生 2 名、4 年生 0 名

80 万円・・・1 年生 14 名

「一般入試(前期3科目型)(中期3科目型)奨学金」(2022年度入学生・2023年度入学生・2025年度入学生)

(資格) 一般入試(前期3科目型)(中期3科目型)成績上位者

2022～2023年度入学生: (1年次) 入試成績上位各5名

(2年次以降) 一定の成績条件をクリアした者

2025年度入学生: (1年次) 入試成績上位各30名

(支給方法) 減免

(支給期間) 2022～2023年度入学生:4年間 ※毎年審査

2025年度入学生:入学年度(初年度)の1年間のみ

(金額) 2022～2023年度入学生:77万円

2025年度入学生:80万円

(2025年度実績) 1年生13名、2年生0名、3年生1名、4年生0名

「公募推薦入試(前期2科目型)(後期2科目型)奨学金」(2022年度入学生～2025年度入学生)

(資格) 前期2科目型:公募推薦入試成績上位10名

(1年次) 入試成績上位10名(得点率70%以上の者)

(2年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

後期2科目型:公募推薦入試成績上位5名

(1年次) 入試成績上位5名(得点率70%以上の者)

(2年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 38万5千円

(2025年度実績) 1年生3名、2年生0名、3年生1名、4年生0名

「プレゼンテーション入試奨学金」(2022年度入学生～2025年度入学生)

(資格) 2022～2025年度入学生:

(1年次) プレゼンテーション入試成績上位5名(得点率70%以上の者)

(2年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 38万5千円

(2025年度実績) 1年生2名、2年生1名、3年生2名、4年生0名

「資格利用型入試(前期型)奨学金」(2022年度入学生)

(資格) (1年次) 資格利用型入試(前期型)において志願時に奨学金対象資格を2つ以上保有している者で、
入試成績上位20名

(2年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 38万5千円

(2025年度実績) 4年生1名

「海外留学等経験者入試奨学金」(2022年度入学生)

(資格) (1年次) 入試成績上位5名(得点率70%以上の者)

(2年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 38万5千円

(2025年度実績) 3年生1名

「資格利用型入試奨学金」(2025 年度入学生)

(資格) 資格利用型入試において奨学金対象資格を志願時に 2 つ以上保有している者

(支給方法) 減免

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 20 万円(入学金相当額免除)

(2025 年度実績) 6 名

「商業科・総合学科等推薦入試奨学金」(2025 年度入学生)

(資格) 商業科・総合学科等推薦入試において資格取得点が 90 点以上の者

(支給方法) 減免

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 20 万円(入学金相当額免除)

(2025 年度実績) 4 名

「指定校推薦(高大連携協定校)入試奨学金」

(資格) 指定校推薦入試(高大連携協定校)において志願時に本学が指定する資格2つを取得済みの者

(支給方法) 減免

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 20 万円(入学金相当額免除)

(2025 年度実績) 0 名

「編入学入試(協定校)奨学金」

(資格) 本学協定校に在籍し、編入学試験に合格した者

(支給方法) 減免

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 20 万円(入学金相当額免除)

(2025 年度実績) 0 名

「RYUKA 特別奨学金」(2022 年度入学生～2025 年度入学生)

(資格) (1 年次)2022～2025 年度入学生:大学入学共通テスト利用型入試合格且つ一定条件を満たした者全員

(2 年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 授業料全額または半額

(2025 年度実績) 38 万 5 千円・・・2 年生 1 名、3 年生 1 名、4 年生 3 名

77 万円・・・2 年生 0 名、3 年生 3 名、4 年生 6 名

40 万円・・・1 年生 3 名

80 万円・・・1 年生 6 名

「流通科学大学卒業生子女入学奨学金」

(資格) 学校法人中内学園教職員又は流通科学大学卒業生の子女

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 対象者 1 名に対し 20 万円

(2025 年度実績) 6 名

「兄弟姉妹入学奨学金」

(資格) 新入生で兄弟姉妹が本学に在学中で、かつ兄弟姉妹が申請時に休学していない者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 対象者 1 名に対し 10 万円

(2025 年度実績) 4 名

「日本学生支援機構(JASSO)奨学金」

(資格) 学校教育法に規定する大学に在学する学生で、学業・人物ともに優秀であり、かつ健康で、経済的理由により
修学が著しく困難である者

(選考)

・第一種奨学金

特に優れた学生で経済的理由により、著しく修学困難な者に貸与

・第二種奨学金

第一種奨学金より、ゆるやかな基準によって、選考された者に貸与

・給付奨学金(修学支援制度)

(支給方法) 貸与(第一種、第二種)、給付または減免(修学支援制度)

(支給期間) 採用になった年の貸与開始から卒業までの最短修業期間

(金額)

・第一種奨学金

自宅通学者 2 万円、3 万円、4 万円、5 万 4 千円の中から選択

自宅外通学者 2 万円、3 万円、4 万円、5 万円、6 万 4 千円の中から選択

・第二種奨学金 2 万、3 万、4 万、5 万、7 万、8 万、9 万、10 万、11 万、12 万の中から選択

・給付奨学金(修学支援新制度)

自宅通学者 区分Ⅰ:3 万 8 千 3 百円(4 万 2 千 5 百円)、区分Ⅱ:2 万 5 千 6 百円(2 万 8 千 4 百円)、
区分Ⅲ:1 万 2 千 8 百円(1 万 4 千 2 百円)、区分Ⅳ(多子世帯):9 千 6 百円(1 万 7 百円)

※()内は、生活保護世帯および社会的養護を必要とする者

自宅外通学者 区分Ⅰ:7 万 5 千 8 百円、区分Ⅱ:5 万 6 百円、

区分Ⅲ:2 万 5 千 3 百円、区分Ⅳ(多子世帯):1 万 9 千円

(2025 年度実績) 第一種 469 名、第二種 674 名、給付奨学金(修学支援新制度)609 名

(備考) 返還 第一種奨学金=無利子、第二種奨学金=有利子

「(公財)瀧川奨学財団」

(資格) 兵庫県出身者の者で、学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由で修学困難な者

(支給方法) 給付

(支給期間) 4 年間

(金額) 2 万 5 千円(月額)

(2025 年度実績) 3 名

「その他の奨学金」

山村育英会奨学金[給付:月額 3 万円] … 2 名

三木市教育委員会奨学金[給付:月額 9 千円] … 2 名

交通遺児育英会奨学金[貸与:月額 4 万円または 5 万円または 6 万円] … 2 名

あしなが育英会[月額 7 万円(うち貸与 4 万円、給付 3 万円)または月額 8 万円(うち貸与 5 万円、給付 3 万円)] … 3 名

神戸やまぶき財団奨学金[給付:年額 101 万 2 千円] … 1 名

和佐見丸和財団奨学金[給付:2 ヶ月の額 10 万円] … 3 名

LPC 奨学金[給付:年額 48 万円] … 1 名

瀧川奨学金[給付・月額 2 万 5 千円] … 3 名

ハローズ奨学金[給付・月額 3 万円] … 1 名

『留学生・社会人・帰国生徒対象の奨学金制度』

「中内学園特別奨学金」

(主旨)

本学が育てたい人物像として掲げる「ネアカ のびのび へこたれず」の精神にふさわしい学業成績基準及び学業成績以外基準を満たした者に、その成果を称え、更なる向上を奨励することを目的に支給する。

(資格)

- ・各学年 8 名以内
- ・留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること
- ・アジアスカラシップを除く他の奨学金受給、及び授業料減免の学生は対象外

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間

(金額) 63 万 6 千円(年額)

(2025 年度実績) 2 年生 8 名、3 年生 7 名、4 年生 8 名

「私費外国人留学生授業料減免」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・私費外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1 年間

(金額) 授業料の 100%(院のみ)、50%もしくは 30%

(2025 年度実績) 授業料 100%減免 学部生 0 名、大学院生 13 名
授業料 50%減免 学部生 22 名、大学院生 14 名
授業料 30%減免 学部生 576 名、大学院生 2 名
授業料 30%減免(半期のみ) 学部生 3 名、大学院生 0 名

「私費外国人留学生精勤者等授業料減免」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・私費外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1 年間

(金額) 授業料の 100%(院のみ)、50%もしくは 30%

(2025 年度実績) 授業料 100%減免 学部生 0 名、大学院生 4 名
授業料 50%減免 学部生 3 名、大学院生 6 名
授業料 30%減免 学部生 234 名、大学院生 2 名
授業料 30%減免(半期のみ) 学部生 1 名、大学院生 0 名

「アジアスカラシップ」

(主旨)

外国人留学生特別指定校推薦入試で合格し、特に優秀な成績を収め入学するアジア各国の留学生で、留学に係る学資の支弁が困難な者に対して支給する。

(資格)

アジア各国の国籍を保有する成績優秀者で、学費の支弁が困難な者。但し、外国人留学生特別指定校推薦入試による授業料半額免除と重複する場合は、本奨学金のみを対象とする。

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 2年間～4年間

(金額)

(1) 1年次 80万円(年額)、2年次 20万円(年額)、3年次以降は支給なし

(2) 1年次 120万円(年額)、2年次 60万円(年額)、3年次以降は支給なし

(3) 1年次 120万円(年額)、2年次 110万円(年額)、3年次 110万円(年額)、4年次 110万円(年額)

(2025年度実績)(1)12名、(2)0名、(3)0名

「外国人留学生特別指定校推薦入試奨学金」

(主旨)

外国人留学生特別指定校からの推薦による留学生入試に出願し、合格した者の授業料半額(38万5千円)を免除

(資格)

外国人留学生特別指定校推薦入試で合格し入学した者。但し、アジアスカラシップ制度による奨学金を受給する者は、本制度の対象としない。

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 38万5千円(年額)

(2025年度実績) 65名(うち1名半期)

「外国人留学生編入学試験奨学金」

(主旨)

外国人留学生対象の入試で合格し、編入学生として入学する留学生に対して、授業料30%(23万1千円)を免除

(資格)

外国人留学生対象の編入学試験で合格し入学した者(「留学」の資格を持つ外国人留学生)を対象とする。

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 2～3年間 ※毎年審査

(金額) 23万1千円(年額)

(2025年度実績) 27名

「特別指定校からの推薦による外国人留学生編入学試験奨学金」

(主旨)

外国人留学生対象の特別指定校からの推薦入試で合格し、編入学生として入学する者を対象とし、授業料半額(38万5千円)を免除

(資格)

特別指定校からの推薦による外国人留学生対象の編入学試験で合格し入学した者

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 2～3年間 ※毎年審査

(金額) 38万5千円(年額)

(2025年度実績) 23名

「Welcome to KOBE 奨励金」

(主旨)

流通科学大学がある「神戸」で学ぶ留学生を支援する奨励金として、1年次前期授業料から20万円を免除

(資格)

外国人留学生を対象とした入試方式で入学した者

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 入学時1回限り

(金額) 20万円

(2025年度実績) 352名

「外国人留学生日本語能力奨学金」

(主旨)

日本語能力試験N1相当及びN2相当の資格を取得している者を対象に奨学金相当額を減免又は給付

(資格)

外国人留学生を対象とした入試方式で入学した者

(支給方法) 授業料 免除または給付

(支給期間) 入学時1回限り

(金額) 日本語能力試験N1相当資格取得者 20万円、日本語能力試験N2相当資格取得者 10万円

(2025年度実績) 日本語能力試験N1相当資格取得者 40名

日本語能力試験N2相当資格取得者 146名

「学習奨励費(就職枠)」

(主旨)

留学生の就職促進に係る教育プログラム(「認定プログラム」という。)を履修する者のうち、学習の成果を称え、又今後の日本での就職活動を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・認定プログラムを履修している学部3年生
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること
- ・日本で就職を希望している事

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間

(金額) 学部生4万8千円(月額)

(2025年度実績) 学部生13名

(備考) 財源:文部科学省

「高度外国人材育成課程履修支援金」

(主旨)

留学生の就職促進に係る教育プログラム(「認定プログラム」という。)を履修する者のうち、優秀な外国人留学生の日本国内での定着を促進し、もって外国人留学生の戦略的な受入れに資することを目的とする。

(資格)

認定プログラムを履修している学部3年生

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間

(金額) 2万円(月額)

(2025年度実績) 学部生4名

(備考) 財源:文部科学省

「ロータリー米山記念奨学金」

(主旨)

将来、母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としている。

(資格)

指定校となっている大学院修士課程、博士課程の留学生を対象とする。

(支給方法) 給付

(支給期間) 最長2年間

(金額) 14万円(月額)

(2025年度実績) 大学院生2名

(備考) 財源:日本全国のロータリアン(ロータリークラブ会員)の寄付金

「その他の奨学金」(2025年度実績)

イオン1%クラブ奨学金・・・学部生5名

JEES日本語教育普及奨学金・・・学部生1名

六甲奨学金・・・学部生1名

神戸市留学生奨学金(神戸・菅原奨学金)・・・学部生4名

似鳥国際奨学財団奨学金・・・学部生6名(支給期間は2025年10月～2026年9月)

(3) 管理運営の概要

【ガバナンス】

- 「理事会」……………学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。
- 「評議員会」……………予算、事業計画、寄附行為の変更等について、理事長があらかじめ諮問する。
- 「学長会議」……………本学の学則その他教学に関する重要な規則、本学の重要な施設設備、本学の入試制度・募集定員及び入試日程、本学学生の卒業の要件の基準、本学学生の身分・懲戒及び学生支援、本学の教育課程の編成、その他本学の運営に関する学長の諮問等について調査審議する。
- 「教授会」……………学生の入学及び卒業、学位の授与、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要として学長が定めるものについて学長が決定を行うに当たり意見を述べる。その他、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べる。
- 「研究科委員会」…学生の入学及び課程の修了、学位の授与、教育研究に関する重要な事項で、委員会の意見を聴くことが必要として学長が定めるものについて学長が決定を行うに当たり意見を述べる。その他、学長及び研究科長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べる。

2025 年度の開催回数について

理事会	8 回	教授会	54 回(商学部 18 回、経済学部 18 回、人間社会学部 18 回)
評議員会	4 回		
学長会議	13 回	研究科委員会	6 回

【内部質保証方針】

1. 内部質保証に関する本学の基本的な考え方

- ①本学において「内部質保証」とは、本学における教育の企画・設計、運用、検証及び改善・向上の一連の過程を重ねることを通じて、本学が行う教育及び本学学生の学びの質の向上を図るとともに、これらが適切な水準にあることを説明し証明していくための恒常的・継続的なプロセスをいう。
- ②本学は以下によって定めるところに従い、教育活動を実施するとともに、その基盤の整備を図る。これらは、本学における内部質保証の基点となるとともに、内部質保証の過程において、必要に応じそれ自体が検証・改善の対象となる。
 - ・本学学則その他本学の理念・目的を明示した規則・文書等
 - ・本学の各学部及び流通科学研究科における「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者の受入れ方針」(アドミッション・ポリシー)
 - ・学園又は本学が本学の教育活動その他の事業活動に関して定める諸方針及びそれらに関して策定する諸施策
 - ・学園が策定する中長期計画及びこれに基づく単年度ごとの事業計画
- ③本学は内部質保証の推進に関する組織体制及び手続を適切に整備し運用することを通じて、内部質保証の実質化を図る。

2. 内部質保証の推進に関する組織体制

- ①教育審議会をもって本学における全学的な内部質保証の推進に責任を負う組織とする。教育審議会の権限・組織等については、「流通科学大学教育審議会規則」の定めるところによる。
- ②教育審議会以外の全学的組織及び学部・研究科その他の学内各組織(以下「学内各組織」という。)における内部質保証の推進に関する組織体制については教育審議会の審議を経て、学長が別に定める。
- ③教育審議会は、学内各組織において内部質保証を推進するにあたり、その指針を策定し、提言・助言を行うとともに、学内各組織間の有機的な連携を図る。
- ④教育審議会に自己点検・評価専門部会を置く。自己点検・評価専門部会は、本学教職員の中から教育審議会座長が指名する委員によって構成し、次の各号に掲げる事項を行う。
 - (ア)全学的な観点から行う自己点検・評価の企画及び実施
 - (イ)学内各組織において実施する自己点検・評価に対する指針の策定、助言及び支援
 - (ウ)全学的な観点からの自己点検・評価報告書の取りまとめ

3. 内部質保証推進体制の運営

- ① 本学が行う教育及び本学学生の学びの質の向上を図るためには、教育課程内・外の区分を問わず、学内各組織のすべてにおいて内部質保証を推進するとともに、学内各組織の構成員である教職員が、各自担当する科目や職務においても内部質保証の過程を重ねることが求められる。教育審議会は、これらの活動が効果的に進められるよう、その指針を策定し、提言・助言を行うとともに、学内各組織間や各教職員間の有機的な連携を図る。
- ② 本学が行う教育及び本学学生の学びの実態や成果等に関する客観的なデータの収集・分析を行い、それらに基づく自己点検・評価を通じた信頼性の高い内部質保証を図る。
- ③ 本学が行う教育及び本学学生の学びに対する社会的要請の動向・変化を的確にとらえ、継続的にそれらの改善・向上を図る。その一環として、外部評価・第三者評価及び認証評価機関による認証評価結果を適切に活用するとともに、本学が実施する自己点検・評価の客観性及び妥当性の確保を図る。
- ④ 全学的な観点からの自己点検・評価結果、外部評価・第三者評価結果及び認証評価機関による認証評価結果を適切な手段・方法によって公表する。

【情報公開】

流通科学大学は学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づき、公表すべき教育研究活動の状況をホームページ上において公開し、公正かつ透明性の高い運営の実現に努めている。

【施設設備整備】

<大学の全体イメージマップ>



<概要>

- 1.ベルタワー
- 2.附属図書館・・・1F:ラーニングコモンズを設置(グループ学習等の利用が可能)
2F:学生専用自習室を設置
- 3.メディアセンター・・・ 1F:パソコン(個人席):45台/カラープリンター:4台/スキャナ:2台
2F:パソコン26台/MacBook Air:1台/カラープリンター:2台/ノートパソコン:14台
スキャナ:2台/プロジェクター:1台/スクリーン:1面
- 4.本部棟(事務局・受付)・・・庶務部
- 5.中内功記念館・・・1997年9月開館
- 6.思索の中庭
- 7.講義棟1、研究棟1
- 8.大学院
- 9.ダイエー資料館
- 10.講義棟2、研究棟2
- 11.講義棟3、研究棟3
- 12.保健室
- 13.講義棟5、研究棟5

- 14.クラブハウス・・・第1、第2、第3クラブハウスを設置
- 15.アスレチック棟・・・コート2面(観客席あり)、武道場2面、スタジオ1面設置(空調完備)
- 16.講義棟6・・・1F:教務部・就職部・学生部、2F:PC演習室、3F:大教室、中教室
- 17.学生用駐車場
- 18.RYUKA HALL
- 19.ローソン流科大実習店
- 20.RYUKA DINING(レストラン)
- 21.テニスコート(6面)
- 22.人工芝グラウンド(夜間照明つき)
- 23.西グラウンド
- 24.国際交流施設学生寮・・・和室、自習室、多目的室(2室)、レクリエーションルームを設置。寮室は全192室(個室)

<大学全体について>

・校地

総面積

流通科学大学キャンパス 164,454.91 平方メートル

・建物

延床総面積 52,783.39 平方メートル

・講義棟

1. 講義棟1

延床面積 4759.86 平方メートル 3階建 1988年1月完成

2. 講義棟2

延床面積 4659.56 平方メートル 8階建の内の1～3階 1992年3月完成

3. 講義棟3

延床面積 2391.68 平方メートル 5階建の内の1～3階 1994年3月完成

4. 講義棟4

延床面積 2205.79 平方メートル 地下1階付き2階建 1994年3月完成

5. 講義棟5

延床面積 5618.35 平方メートル 4階建の内の1～3階 2001年3月完成

6. 講義棟6

延床面積 4918.49 平方メートル 3階建 2007年7月完成

・本部棟・研究棟

7. 本部棟

延床面積 2719.57 平方メートル 4階建 1988年1月完成

8. 研究棟1

延床面積 2925.74 平方メートル 3階建 1988年1月完成

9. 研究棟2

延床面積 2687.35 平方メートル 8階建の内の4～8階 1992年3月完成

10. 研究棟3

延床面積 1196.92 平方メートル 5階建の内の4～5階 1994年2月完成

11. 研究棟5

延床面積 1680.00 平方メートル 4階建の内の4階 2001年3月完成

・大学附属建物

12. 図書館

延床面積 1559.63 平方メートル 3階建て 1988年1月完成

蔵書数蔵書数 188,620 冊、雑誌 792 種

13. アスレチック棟

延床面積 6571.22 平方メートル 地下1階付き3階建 2006年4月完成

14. 中内功記念館

延床面積 453.02 平方メートル 地下1階付き2階建 1997年9月完成

15. キャッシュレジスター博物館

延床面積 180.00 平方メートル 2階建の内の2階 2011年9月完成

16. RYUKA HALL

延床面積 1892.13 平方メートル 2階建て 1988年1月完成

17. RYUKA DINING(レストラン)

延床面積 3207.20 平方メートル 2階建て 1988年1月完成(1994年3月増築)

18. 第1クラブハウス

延床面積 2216.93 平方メートル 2階建て 1989年10月完成(2000年1月増築)

19. 第2クラブハウス
延床面積 864.00 平方メートル 2階建て 2008年7月完成
20. 第3クラブハウス
延床面積 441.88 平方メートル 2階建て 2012年2月完成
21. 国際交流施設学生寮
延床面積 7788 平方メートル 3階建て 2018年2月完成
寮室 192 室
22. 駐車場台数
約 400 台(学生用 313 台、教職員用 85 台)
23. 駐輪場台数
約 350 台
24. グラウンド
西側グラウンド
25. 流通科学大学野球場
敷地面積 26090.45 平方メートル 2009年11月完成
(更衣室等 171.95 平方メートル)
26. 東京オフィス
賃貸面積 260 平方メートル

・大学航空写真(2018年2月撮影)



(4) 上記(「(1)～(3)」)以外の特長ある取り組みの概要

①教育力向上の取り組みの概要

- ・「学生による授業改善アンケート」導入(1994年度)
- ・「学生による授業評価」結果を教職員に公表し、情報共有(2001年度)
- ・「全学の一斉授業公開(オープンクラスウィーク)制度」導入(2003年度)
- ・FD・SD研修会の継続実施
- ・FD・SDの推進
- ・学生カルテ、学生ポートフォリオの構築・研究
- ・学生アンケートの実施と分析
- ・教育指導法の開発・改善に関する調査研究
- ・研究会、講習会、後援会、公開講座などの開催
- ・研究成果の刊行
- ・学生の学修相談
- ・オフィスアワーや学習の場の提供に関すること
- ・初年次教育へのCA(class assistant)制度の導入(2015年度)
- ・2016年度入学生よりGPAを導入
- ・2020年度入学生よりGPAにより履修制限数の緩和と厳格化を実施
- ・2020年度入学生より履修制限外科目の見直し(経済学部:公務員特別クラス等)
- ・「授業公開デイ(保護者参観)」を実施(保護者が実際に授業を参観し教員と意見交換可能)(2007年度)
- ・「授業公開デイ」を祝日授業日に実施(2021年度より)
- ・教職員による学修相談(2022年度前期より)
- ・学習成果の可視化を目的として、PROGテストを導入(2022年度より)
- ・アカデミック・カフェ(教職員企画FD)を導入(2025年度より)

②国際交流の概要

<海外留学制度>

- ・交換留学制度
2025年度 受入8名(中国2名・ベトナム4名・台湾1名・韓国1名)
- ・認定留学制度
2025年度 派遣2名(ニュージーランド)

<海外語学研修>

- ・夏季、春季を利用した研修プログラムで、各国の大学の寮やホストファミリーの家に宿泊しながら、語学プログラムを受講。期間は3週間程度。研修実施国(地域)は、隔年でアメリカまたはニュージーランド。
- ・2025/8/18～9/5 アメリカ・ポートランド州立大学 参加者1名

<English Café>

- ・英語に興味はあるが自信がなく、どのように学習すれば良いかわからない状況の学生が、まず第一歩が踏み出せるように、「カフェ」のような場所を提供する。また、海外研修や短期留学に金銭的な問題で参加できない学生をフォローする意味でもこのEnglish Caféをキャンパス内ミニ留学の役割を果たす存在とする。
- 2025年度 月曜日・水曜日・金曜日 12:30-15:30
延べ1,177名参加(前期:729名、後期:448名)

<海外の提携校>

- ・台湾・・・国立高雄科技大学、南台科技大学、中国科技大学
- ・韓国・・・東亜大学校、中央大学校、東明大学校、明知大学校
- ・中国・・・南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学経済学院、蘇州大学応用技術学院、南京大学大学外語部、四川外国語大学、天津商業大学、蘇州工学院、嘉興大学、広州工商学院、嘉興大学、青島求实職業技術学院
- ・ベトナム・・・貿易大学、ホーチミン市師範大学、タンロン大学、ダナン大学、ハノイ国家大学外国語大学
- ・タイ・・・カセサート大学、ブラパー大学、パンヤピワット経営大学
- ・ニュージーランド・・・ワイカト大学
- ・アメリカ・・・ポートランド州立大学、セントラルワシントン大学
- ・フィンランド・・・バーサ大学
- ・フランス・・・ESCブルターニュブレスト
- ・イタリア・・・International Studies Institutes (ISI Abroad)

<留学生支援部>

- ・留学生が日本で学生生活を送るためには、日本の法律を遵守すると共に、一人一人の人生や目標を大学側とよく話し合い、相談しながら「なりたい自分」に向けて進んで行く必要がある。特に留学生に関係する法律や入国関係の知識を持ち、留学生に寄り添って各種支援を行なうために留学生支援部が設置されている。

③社会や企業と連携した社会共創活動の概要

<活動実績（2025年度）>

- ・第9回 神戸学生イノベーターズ・グランプリ（I-1 グランプリ）

概要：オリバーソース株式会社の協力のもと「どろソースの魅力で、世界を虜に！」をメインテーマに開催。本学からは11チームが参加。フィールドワークでは、オリバーソース株式会社 本社を訪問し、会社の歴史やソースの製造に関する動画の視聴やソースの製造工程を見学。各チームは、フィールドワークやデータ収集・分析を通しターゲット層をまとめ、学生ならではの視点やマーケティング手法を活用し、個性あふれる提案を実施。新雅史准教授指導の有志チーム、【どろ☆スター】が優勝。【虹チーム】（白貞壬ゼミ）が第3位、【構想堂】（亀谷涼講師指導の有志チーム）と【森脇ゼミ2回生】（森脇ゼミ）が特別賞を受賞。

連携先：オリバーソース株式会社

日程：2025年7月～2026年1月

参加状況：2大学（本学・兵庫県立大学）1高校（明石商業高等学校）、21チーム・104名（本学：11チーム・58名）

- ・2025年度人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ

概要：経済産業省がとりまとめ定義した「人生100年時代の社会人基礎力」の育成に資する各大学の取り組みと、取り組みのなかで成長を遂げた学生の多様な実例を審査・表彰し、その実例の周知を目的に実施される『人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ』に本学から、新ゼミが参加。「本屋がほしい」の声から始まった一箱古本市一調査を実践につなげた1年の挑戦」をテーマに、2024年度から2025年度にかけて実施してきた、商業施設【BRANCH 学園都市】における調査・実践活動を基盤とし、取り組みを通して得た学びや成長を発表。近畿地区予選大会で優秀賞を受賞した。

連携先：一般社団法人社会人基礎力協議会

日程：2025年11月～2026年3月

参加状況：9名（新雅史ゼミ3年生）

- ・学生・西区連携まちづくり活動助成

概要：神戸市西区内の大学・高専に通う学生が、地域課題の解決や魅力向上を目的に行う活動に対し、経費の一部または全部を助成する制度に、白ゼミが3年連続で採択された。今年度は、「地域活性化の推進および有機農業のPR」をテーマに西区内の有機農家・C-farmと連携。9月のオープンキャンパスでは、C-farmとの取り組みをパネル展示するとともに、動画を作成し有機野菜のプロモーションを実施。また、11月の学園祭・りゅうか祭にて模擬店を出店し、西区の有機野菜のPRを行った。

連携先：神戸市西区、C-farm

日程：2025年4月～2026年3月

参加状況：12名（白貞壬ゼミ3年生）

- ・稲美町魅力発信事業

概要：2023年度から兵庫県稲美町へのふるさと納税の推進と町内産業の活性化を図るため、稲美町ふるさと納税返礼品協力企業を取材し、PR活動を実施。今年度は、【株式会社文明堂】と【株式会社有馬芳香堂】を取材。そのインタビューをもとにふるさと納税返礼品と企業の魅力をまとめた学生たちの紹介レポートは稲美町のホームページに掲載され、稲美町へのふるさと納税の検討に役立てられた。

連携先：稲美町

日程：2025年4月～2026年3月

参加状況：14名（秦洋二ゼミ3年生）

- ・家島活性化プロジェクト

概要：2023年度からの辻本ゼミの継続企画。人口減少や空き家の増加が問題となっている兵庫県家島の活性化に取り組むプロジェクト。

【4年生ゼミ】：『家島交流フェス』において模擬店出店と2024年度の活動報告会を実施し、地域住民との交流を深めた。また、昨年度改修した空き家を家島訪問時の活動拠点【家島BASE】と名付け、「家島BASE看板」・「家島BASEルールブック」・「家島オープンマップ」の制作活動を実施。看板作成には空き家改修時の廃材を活用した。

【2・3年生ゼミ】：【家島BASE】を拠点とした家島の魅力発見と情報発信活動を実施。若者や家族連

れが使いやすく、SNS 投稿に繋がるデジタルマップ：【いえしまてくてくマップ】を制作し、家島の魅力を発信した。

また、2 年生から 4 年生のゼミ生全員で【家島 BASE】にて地域活性化の一環として『家島交流カフェ』を開催した。

連携先：いえしまコンシェルジュ

日程：2025 年 4 月～2026 年 3 月

参加状況：15 名（辻本乃理子ゼミ 4 年生・3 年生・2 年生）

・企業課題解決プログラム

概要：課題を抱えている大学コンソーシアムひょうご神戸の賛助会員企業・団体と加盟校のマッチングを行い、大学のゼミの専門性を活かして課題解決を提案するプログラム。本学からは以下の 5 ゼミが参画。

【早川ゼミ】× 株式会社東京商工リサーチ 神戸支店

東京商工リサーチが発行する就職情報誌『ALevel（エラベル）』の認知度向上のための提案を実施。実際に学生自ら『ALevel』を活用しながら就職活動を進め、感じた魅力や問題点をまとめ、企業情報の充実に向けた改善策を提案。

【三浦ゼミ】× エム・シーシー食品株式会社

『国産牛肉の 100 時間かけたビーフカレー』が持つ品質やこだわり、商品に込められた思いを若年層により効果的に伝えていくための方法を検討。商品理解を深める試食会や企業担当者へのヒアリング、学内アンケート調査を実施。得られた知見をもとに、若年層との接点拡大を意識した SNS 活用や体験型施策など、実現性と継続性を考慮したプロモーション案を提案した。

【後藤（奈）ゼミ】× 株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター

新卒採用において「現状の採用プロセスでよいのか」という企業の課題解決に、アンケート調査やオープンカンパニーでの IT エンジニアの仕事の実体験を通し、学生目線での新しい採用スタイルの考案に挑戦。【日本人チーム】はアンケートから探る最適な SNS 媒体を提案、【留学生チーム】は認知不足を解消する“会社が見える”動画を作成した。

【前川ゼミ】× 株式会社ロック・フィールド

「活躍人材採用のために営業職の魅力を伝えるためには？」をテーマに課題解決に挑戦。前川ゼミは 4 チームに分かれ、ロック・フィールドの「営業職」への理解を深めるために、職場見学やグループワークを重ね、体験型や参加型の要素を盛り込んだ 4 つの多様な就活プログラムを提案した。

- ・実体験で営業のリアルを伝えるプログラム
- ・「食べて知ろう！」体験型 1day インターン
- ・「伝える」を重視した参加型プログラム
- ・販売職を「専門コンサルタント」として再定義

【山川ゼミ】× 株式会社 JTB 神戸支店

JTB が抱える若者の海外離れの課題解決のため、JTB 主催の大学生向け『ホノルルフェスティバル・ボランティアツーリズム・プログラム』を題材に、海外志向醸成に関する現在の学生のマインドの調査・分析を実施。以下の 2 つの販売アプローチ方法を提案した。

- ・学内のボランティアサークルのミーティングで直接的な説明による参加促進への取り組み
- ・学外の海外ボランティア団体への宣伝・連携の取り組み

連携先：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

日程：2025 年 4 月～2026 年 3 月

参加状況：48 名（早川翔ゼミ 3 年生、三浦玉緒ゼミ 4 年生・3 年生、後藤奈々子ゼミ 3 年生、前川明ゼミ 4 年生・2 年生、山川拓也ゼミ 4 年生・3 年生）

・アパレル新製品企画プロジェクト

概要：カフカ株式会社（名古屋中小企業投資育成株式会社）と連携し「Z 世代のためのアパレルグッズ」をテーマに新製品の企画提案を実施するプロジェクト。中京大学のゼミと合同で実施。藪野ゼミは生理の不快感や悩みに着目し、既存製品の機能を生かしつつ、新たな製品として【サニタリーショーツ】を企画した。

連携先：カフカ株式会社

日程：2025 年 4 月～2025 年 8 月

参加状況：10 名（藪野祥太ゼミ 3 年生）

- ・セキスイ壺「MIGUSA」の新用途展開や販売プロモーション提案
 積水成型工業×流通科学大学 前川ゼミ×武庫川女子大学 井口ゼミ 連携プロジェクト
 概要：セキスイ壺「MIGUSA」の素材を使用した新たな製品やサービスを開発するプロジェクト。武庫川女子大学のゼミと合同で実施。市場調査・分析を行い、学生ならではの柔軟な発想から「MIGUSA」の耐久性や耐水性、防汚性、抗菌性といった素材としての特性に加え、カラーバリエーションの多彩さを最大限に生かした個性あふれる新商品を提案した。
 連携先：積水成型工業株式会社
 日程：2025年4月～2025年8月
 参加状況：11名（前川明ゼミ 3年生）
- ・レッドハリケーンズ大阪観戦者調査プロジェクト
 概要：2022年度からの山口ゼミとの継続企画。レッドハリケーンズ大阪のマーケティング分析をサポートするため、集客増に向けた基礎資料を得ることを目的にスタジアムでの「来場者満足度向上に向けたアンケート調査」を実施。収集したデータを分析し、レッドハリケーンズ大阪に対し、報告書の作成、及び報告会を開催した。
 連携先：レッドハリケーンズ大阪
 日程：2025年4月～2025年11月
 参加状況：14名（山口志郎ゼミ 3年生）
- ・平野商店街の個店の魅力の情報発信を通じた地域貢献（平野商店街振興組合）
 概要：2024年度からの継続企画。今年度は、昨年度に選定した取材先店舗・店員の魅力をマーケティング4P（商品・価格・流通・プロモーション）の視点から取材・分析し、SNSを活用して発信、並びに運用支援を実施。各店舗や商店街の強みや人の魅力を可視化するとともに、継続的な情報発信の仕組みを構築。商店街の認知拡大とイメージアップを図り、来街者増加と地域活性化に貢献した。
 連携先：平野商店街振興組合
 日程：2025年4月～2025年12月
 参加状況：14名（長坂泰之ゼミ 3年生）
- ・Student Innovation College（Sカレ2025）
 概要：マーケティングを学ぶ32大学40ゼミ526名の3年生による161チームがゼミ対抗で、8テーマの商品企画をFacebookで公開し「いいね！」で支持を集め、コメントで改善し、発売を目指す商品企画コンテスト。『秋カン』（大会）でコンセプトを、また『冬カン』（大会）で商品化権を最終プランで競い合い、翌秋カンでは発売実績にもとづき総合優勝を争奪する。本学では、2008年より後援団体としてSカレを支援。今年度は本学から毎年参加している清水信年ゼミに加え、梶田真生ゼミが初参加。
 清水ゼミと梶田ゼミが挑戦したテーマは以下のとおり。
【取組テーマ】
 清水ゼミ
 ・「段ボール商品」（株式会社美販）
 ・「社会課題を解決する印刷製品」（株式会社明成孝橋美術）
 ・「誰かがしあわせになる紙文具」（大阪書籍印刷株式会社）
 梶田ゼミ
 ・「段ボール商品」（株式会社美販）
 ・「ギフト用のオーラルケア製品」（ヤマトエスロン株式会社）
 連携先：Sカレ委員会
 日程：2025年4月～2025年12月
 参加状況：全国32大学（青山学院大学・大阪成蹊大学・岡山理科大学・小樽商科大学・尾道市立大学・関西大学・関西学院大学・京都産業大学・共立女子大学・近畿大学・甲南大学・神戸大学・国士舘大学・駒澤大学・滋賀大学・専修大学・高崎経済大学・中京大学・東海大学・同志社大学・名古屋市立大学・名古屋商科大学・南山大学・兵庫県立大学・福岡大学・法政大学・武庫川女子大学・目白大学・山梨学院大学・立命館大学・流通科学大学（清水信年ゼミ 3年生10名・梶田真生ゼミ 3年生9名）・和歌山大学）40ゼミ・526名・161チーム

- ・マイプロジェクト in 長田（日本語カフェ）

概要：神戸市長田区をフィールドに、学生ひとりひとりの中にある「自分がやりたいこと・やってみたいこと」（マイプロジェクト）で、かつ、地域にも喜ばれることを、地域の人たちと対話をしながらマッチング企画・運営を行い、地域活性化や地域交流創出につなげていく 2024 年度からの継続企画。今年度は、長田区の日本語学校に通う留学生が地域の人たちとの交流を通して日本文化を学び、また日本語を楽しく正しく学ぶ場として『日本語カフェ』を企画。学校外で日本語を使い、地域や人とながらる場づくりを行った。

連携先：神戸市、ゲストハウスとまりぎ、神楽日本語学園

日程：2025 年 4 月～2026 年 3 月

参加状況：10 名（岡田恵実ゼミ 4 年生・3 年生）
- ・名谷リビングラボプロジェクト

概要：名谷エリアのさらなる活性化を目的に、『シビックプライド』の醸成に繋がる活動を企画、運営するプロジェクト。フィールドワークや調査を重ね、赤道（歩行者専用道）等の地域資源を再発見。名谷エリアに住む子どもたちをターゲットとした地元の祭り：『名谷赤道故郷祭』を企画。【縁日・屋台】、【コンテスト】、【スタンプラリー】のプログラムを用意し祭りを盛り上げた。

連携先：パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社、神戸市須磨区

日程：2025 年 4 月～2026 年 3 月

参加状況：15 名（岡田恵実ゼミ 3 年生）
- ・兵庫県播磨町の中学生運動部員を対象とした心理的支援

概要：本学と播磨町との包括連携協定に基づき、播磨中学校の運動部活動に熱心に取り組む中学生を対象に、心のトレーニングの重要性を知ってもらうためのスポーツメンタルトレーニング講座を開催。また、講座内では、運動部活動の地域移行が行われつつある現状において、部活動に取り組む中学生の心理的課題のアンケート調査も実施。調査結果を分析し、今後の支援方策を検討する際に活用可能な基礎的な資料を提供した。

連携先：播磨町

日程：2025 年 4 月～2025 年 9 月

参加状況：6 名（内田遼介ゼミ 4 年生・3 年生）
- ・まちなか会ワークショップ企画・運営・参画
～津波被災市街地の生き残りのための方策をともに探る～（岩手県陸前高田市）

概要：長坂ゼミは 2022 年度から高田まちなか会と連携し、東日本大震災の津波被災地・陸前高田市の復興支援のための活動を継続して実施。今年度は、「津波被災市街地の生き残りのための方策をともに探る」と題したワークショップを開催。具体的には「若者目線の店選び」をテーマとした車座形式の意見交換会を実施。若者の視点から若者の購買行動の特徴を整理し、SNS の効果的な活用方法を提案した。

連携先：高田まちなか会（事務局：陸前高田ほんまる株式会社）

日程：2025 年 5 月～2026 年 2 月

参加状況：13 名（長坂泰之ゼミ 3 年生）
- ・コトバスグループとの協働による琴平町での大学生関係人口創出（25 夏）

概要：香川県・琴平町に本社を置く琴平バス株式会社（コトバス）と協働し、大学生をターゲットとする琴平町での関係人口創出を目的に 1 週間滞在型体験プロジェクト：『コトコトプロジェクト』を企画。このプロジェクトは、琴平町での出会いや経験・体験を通じて、地域や住民の魅力に触れ、自分の居場所を見つけていくプロジェクト。ただ訪問するだけでなく、地域や人との関係をこことこ“煮込む”かわり方を体験し、また帰ってきたくなる仕掛けが施されている。

連携先：コトバスグループ、KOTO VEGAS、こんびら温泉 湯元八千代・貸切湯の宿 ことね、中野うどん学校 琴平校

日程：2025 年 5 月～2025 年 9 月

参加状況：3 名（山川拓也ゼミ 4 年生・3 年生）
- ・琴平町での大学生関係人口創出（第 2 回コトヒラコネクトプロジェクト）

概要：琴平バス株式会社（コトバス）と協働し、琴平町での大学生関係人口創出を目的に実施しているプロジェクト。9 月に実施した『コトコトプロジェクト』の内容をブラッシュアップし実施したプロジェクトの 2 回目。

連携先：コトバスグループ

日程：2026 年 1 月～2026 年 3 月

参加状況：11 名（山川拓也ゼミ 3 年生・2 年生）

・株式会社ラングローブとの課題解決プロジェクト

概要：「日本在住の外国人の若者に中古車を販売するには、どのようなマーケティングをするべきか？」のテーマのもと、辻周吾ゼミに所属する、アメリカ・インドネシア・中国・バングラデシュ・ベトナム・マレーシアなど、延べ6か国の学生が課題解決に挑戦。まず、留学生の中古車購入に対する意識調査を実施。日本語版のアンケート調査票を作成し、それを英語・中国語・ベトナム語に翻訳。多国籍アンケート調査をもとにデータを分析し、異なる文化的な背景を持つ留学生の視点から、日本在住の外国人顧客をターゲットとしたマーケティング提案を行った。

連携先：株式会社ラングローブ

日程：2025年5月～2026年3月

参加状況：15名（辻周吾ゼミ 3年生・2年生）

・放課後等デイサービス事業所での子ども支援における実践とプログラムの開発

概要：昨年度に引き続き、OMOIYARI PLUS ONEの運営する放課後等デイサービス事業所において、子どもたち（発達障がい児）と実際に交流し、継続して支援の実践を重ねる中で、学生の視点からより有効と考えられる支援プログラムを開発、事業所に対して提案を行った。

連携先：株式会社 OMOIYARI PLUS ONE

日程：2025年6月～2026年3月

参加状況：13名（岩崎久志ゼミ 3年生）

・日本全国ユニバーサルビーチ活性化プロジェクト

概要：昨年度に引き続き、障害者がマリンスポーツを楽しむことのできる【ユニバーサルビーチ】の活性化に向けた介入、及び参加者・主催者を対象にアンケート・インタビュー調査を実施。本年度は須磨・小豆島・徳島での活動に参加し、地域特性を踏まえた支援活動と調査を実施、複数地域を比較する視点から検討し、今後のユニバーサルビーチの全国展開に向けた改善点や日本全国におけるユニバーサルビーチ活性化に向けた提案を行った。

連携先：NPO 法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト

日程：2025年7月～2026年3月

参加状況：8名（青山将己ゼミ 4年生）

・日本観光経営学会 課題解決型プロジェクト

概要：日頃の学修で培った観光経営に関する知識や視点を活かしながら、企業や地域が実際に直面している課題に取り組む実践型教育プログラム。「NIPPONIA HOTEL 伊賀上野 城下町の新たなマーケットを開拓するためのインバウンド誘致の方法を企画・提案する」というテーマのもと、本学から伊賀ゼミと道前ゼミが参画。伊賀ゼミが【優秀賞】を受賞した。

・伊賀ゼミ：【優秀賞】

「伊賀上野 忍術体験 - 忍術から学ぶ、現代を生きるカー／伊賀上野 俳句体験 - 漢詩×俳句」

連携先：一般社団法人日本観光経営学会

日程：2025年6月～2026年2月

参加状況：7名（道前美佐緒ゼミ 3年生、伊賀尚武ゼミ 3年生）

・コーヒー残渣を活用したパン開発を通じたアップサイクル実践プロジェクト

概要：神戸の喫茶店で発生するコーヒー残渣（抽出後の豆かす）をペースト化し、その風味・色味、栄養価を活かして、「アップサイクル（地域資源の循環型活用×SDGs）×学生の実践」をテーマに商品を開発。10月の「神戸パン祭り」や11月の「りゅうか祭」にて開発したパンを販売。パンという身近な食品を通して地域資源のサステナブルな取り組みの価値を発信した。

連携先：株式会社イズベーカーリー、みらい廃棄物研究所

日程：2025年7月～2026年2月

参加状況：15名（岡田恵実ゼミ 3年生）

・須磨海水浴場のユニバーサルデザイン化に向けた活性化事業

概要：国際環境認証「ブルーフラッグ」の認定を受けている須磨海水浴場のさらなるユニバーサルデザイン化に向けた活性化事業を展開した。須磨周辺の「環境整備」に着目し、夏の毎週末に実施される須磨ユニバーサルビーチの参加者へのアンケートや聞き取り調査を実施し、須磨までの交通経路や動線、観光の有無について情報を収集。WheelLog!アプリを用い、バリアフリーマップを作成した。

連携先：NPO 法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト

日程：2025年7月～2026年3月

参加状況：30名（青山将己ゼミ 4年生・3年生・2年生）

・BRANCH 学園都市「Family Halloween」

概要：2024年度に開催した BRANCH 神戸学園都市「いい夫婦の日」イベントが好評につき、BRANCH 神戸学園都市テナント会からの要望により、今年度も商業空間における祝祭文化を促進するイベント、『ハロウィンイベント』を企画。「家族で楽しむハロウィン」をコンセプトに【森の広場】の装飾展示を実施。また学生たちが装飾した【森の広場】の森のステージを舞台に一般公募のカップルを対象にした『HALLOWEEN WEDDING』をプロデュースした。

連携先：BRANCH 神戸学園都市

日程：2025年4月～2026年1月

参加状況：11名（道前美佐緒ゼミ 3年生）

・「多可町商工会×流通科学大学関陽ゼミ」プロジェクト

概要：人口減少・若者流出という地域の課題に対して、学生の視点で解決する実践型プロジェクト。今年度は関陽ゼミが「採用強化」をテーマに挑戦。4つのチームに分かれて、多可町の4つの企業・団体とタイアップし、新卒採用強化に向けた効果的な広報の在り方を検討。ヒアリングや現地調査をもとに就活中の学生に向けた PR 方法や企業の PR 動画の作成など、こらから就活に臨むことになる学生ならではの視点から学生にとって魅力的に映る広報や情報発信の在り方を提案した。

連携先：多可町商工会

日程：2025年7月～2026年3月

参加状況：19名（関陽ゼミ 3年生）

・地域5大学×三宮オーパ・三宮オーパ2「学生が考えるSDGs」

概要：地域の若い世代とともにSDGsを身近に感じてもらうきっかけづくりや、地域未来の貢献への思いからOPA（三宮オーパ・三宮オーパ2）と地域の5大学（本学、甲南大学、神戸市外国語大学、神戸松蔭大学、兵庫県立大学）が共創し、SDGsイベントを実施。本学からは2024年度に引き続き竹内ゼミが参画。SDGsに関するゲームを通して、楽しく遊びながら「世界の今」と「SDGs」について学ぶゲーム体験会とSDGsを知る展示を行った。

連携先：株式会社OPA

日程：2025年6月～2025年9月

参加状況：19名（竹内信行ゼミ 3年生）

・結婚式場のエスタシオン・デ・神戸様との社会連携

概要：エスタシオン・デ・神戸が抱える課題改善や、新たなブライダル・イベントの企画提案、及び運営までを学生が実践するプロジェクト。今年度は、エスタシオン・デ・神戸を舞台に就業体験を実施。実際の現場を見て、働いて感じた課題や可能性を抽出。課題を踏まえて、市場調査や来客者からのニーズに対するアンケート調査を実施した。次年度は、収集したデータを心理的側面も含めて分析し、新たな企画を提案予定。

連携先：エスタシオン・デ・神戸

日程：2025年9月～2026年3月

参加状況：5名（保田洋ゼミ 2年生）

・ファジアーノ岡山 新スタジアム建設プロジェクト

概要：2025年にJ1昇格を果たした「ファジアーノ岡山」を対象に、新スタジアム整備に関するファン・サポーターの意向を把握することを目的に実施した調査プロジェクト。アンケート調査を実施し、新スタジアムに対するファン・サポーターの理想とする規模や立地、複合施設などを分析。新スタジアム整備の方向性を検討した。

連携先：ファジアーノ岡山

日程：2025年9月～2026年3月

参加状況：5名（青山将己ゼミ 4年生・3年生・2年生）

・(株)宿場 JAPAN に対する神戸市灘区の CBT 計画の提案

概要：本学の授業『観光施設計画論』で CBT（Community Based Tourism）を学ぶ学生が、「神戸のふつう」をテーマにその土地の歴史や文化、産業、暮らしを大切にしながら、地域の日常を観光資源として活用し、地域の活性化を目指す取り組みに挑戦。学生たちはフィールドワークを通し、「神戸のふつう」を感じることができるコンテンツやツアーを考案。各チームの提案は下記のとおり。

- ・王子公園で手軽に「自然」「動物」を体験できる桜ピクニックツアー
- ・山と海がつくる「神戸のふつう」をめぐるツアー
- ・「神戸といえば“パン”」を味わいながら神戸の歴史を感じる朝の散策ツアー
- ・3つのコースからそれぞれの興味に従って選択できる「海・町・山」を満喫するツアー

連携先：株式会社宿場 JAPAN

日程：2025年9月～2026年1月

参加状況：16名（山川拓也准教授指導『観光施設計画論』クラス 3年生・2年生）

・P-COM 2025

概要：大学と企業（(株) PLANA、(株) 産直、(株) フイゴ）が連携し、マーケティングの企画（Plan）・発表（Presentation）・実践（Practice）を通じて総合的な学びを得ることを目的としたマーケティング企画大会に昨年度に引き続き、藪野ゼミが参画。今年度のテーマは「バイヤーになって、日本の名品を発掘せよ！！」。マーケティングの知識を活かした加工飲食品のプロモーション企画を実施した。

連携先：P-COM 運営事務局

日程：2025年9月～2026年2月

参加状況：9名（藪野祥太ゼミ 2年生）

・若者視点からのヤクルト訪問販売向け商品提案

概要：ヤクルトレディによる訪問販売でヤクルト製品と組み合わせて提案できる新たな食品・菓子等の商品アイデアを学生ならではの視点を取り入れ提案するプロジェクト。店頭販売とは異なる訪問販売の特性を踏まえ、ヤクルトレディが日常の対面対話のなかで無理なく紹介でき、シニア層に喜ばれる「もう一品」を検討。健康への配慮、食べやすさ、継続しやすさ、持ち運びやすさなどの観点を踏まえた以下の4つの商品アイデアを提案した。

- ・米クリスプチョコ
- ・小魚せんべい トマトチーズ
- ・フルーツようかん キウイ味
- ・プロテシガール（「プロテイン入りシガレットロール」）

連携先：ヤクルト商事株式会社

日程：2025年9月～2026年1月

参加状況：14名（岡田恵実ゼミ 2年生）

・天満屋ストアとの社会連携

概要：「天満屋ストアの価値を、まだ届いていない人にどう伝えるか？」をテーマにターゲットの生活や課題を明確にしたうえで、店舗の差別化につながるアイデアを検討。SNS を活用した取り組みや地域を支える存在としての見せ方等、学生ならではの視点から提案を行った。

連携先：株式会社天満屋ストア

日程：2025年9月～2026年1月

参加状況：30名（藪野祥太講師指導『デザイン論』クラス 3年生・2年生）

・ネスタリゾート神戸 社会共創プロジェクト

概要：ネスタリゾート神戸と連携し、テーマパークビジネスの課題に対する解決策を学生視点で提案するプロジェクト。フィールドワークやアンケート調査を通して、「来訪者満足度の向上、及び再訪意欲の促進」といった課題を抽出。価格設定の最適化、待ち時間の価値転換、ブランド体験の強化、園内空間の回遊性向上といった観点から課題を整理し、実現可能性や運用面を踏まえた解決策を提案した。

連携先：ネスタリゾート神戸

日程：2025年9月～2022月

参加状況：14名（山口志郎ゼミ 3年生）

・王将新メニュー開発プロジェクト

概要：2025年2月に参加した「スーパーマーケット・トレードショー2025」をきっかけに連携がスタート。地域食材をテーマに市場調査・分析、商品コンセプト立案、ネーミングや販売戦略の検討までを実施。後藤ゼミは4チームに分かれ、学生ならではの自由な発想や価値観で「売れる商品」を前提とした、「関西らしさ」や親しみやすさをベースに地域と企業をつなぐ新メニューを提案。4つの提案の中から、関西の「美味しい」を一気に味わえるメニューをコンセプトにした【なにお黒毛和牛のあばれまぜそば】を商品化候補として選定、大阪王将 道頓堀本店において期間限定で販売された。

連携先：株式会社大阪王将、株式会社イトアンドフーズ

日程：2025年4月～2026年2月

参加状況：28名（後藤こず恵ゼミ 4年生・3年生・2年生）

- ・東ハト新商品開発プロジェクト
 概要：フェアトレードやオーガニックの素材を使用した新しいチョコレート菓子商品の企画提案を行うプロジェクト。社会課題への問題意識と企業活動としての実現性の両立を意識して企画を構築し、アンケート調査やフィールド調査を実施。社会的・環境的に意義のある商品を学生の視点とアイデアで検討し“ホワイトデー”に着目。SDGsをコンセプトとしたギフト商品の企画提案を行った。
 連携先：株式会社 YRK and、株式会社東ハト
 日程：2025年4月～2026年2月
 参加状況：6名（後藤こず恵ゼミ 3年生）
- ・店頭での販売促進プロジェクト
 概要：ローソン流科大実習店において、『きゃらふれ』と『サクッとパスタ』の販促強化を目的としたPOPの企画・設置を実施。「売れる売り場をつくる担当者」として責任を持ち、限られたスペースのなかで、売り場全体の調和を保ちながら視覚的な訴求やストーリー性を持たせた演出によって売り場の魅力向上と活性化に貢献した。
 連携先：ローソン流科大実習店、シンコー食産株式会社
 日程：2025年4月～2026年3月
 参加状況：5名（後藤こず恵ゼミ 3年生・2年生）
- ・地域スポーツイベントにおけるスポーツプログラムの提供
 概要：NPO法人スポーツクラブ21はりまが主催する『うみえーるあおぞらオータムフェス』において、地域の子どもを対象に「スポーツを好きになるきっかけづくり」をコンセプトに学生たちが企画したスポーツ体験ブース、【スティックキャッチ】を運営。子どもたちへのスポーツ機会の提供を通じて、スポーツへの関心を高めることに貢献した。
 連携先：NPO法人スポーツクラブ21はりま
 日程：2025年9月～2025年12月
 参加状況：13名（与那覇秀勲ゼミ 2年生）
- ・カフェ空間への出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成（平野商店街 KIKKAKE）
 概要：神戸市兵庫区平野地区の空き店舗を改修し、カフェ空間として整備されている【シェアカフェ KIKKAKE PLACE】を活用し、飲食店経営に挑戦。出店体験を通じて社会人基礎力を養成するとともに、平野地区にない新たな価値を見出すことで地域貢献を目指すプロジェクト。2022年度からの長坂ゼミの取組み。出店計画、周辺調査・分析、メニュー考案、試作、仕込みから営業まで、すべて学生が主体的に実施。今回は3チームに分かれ、『Café BW』（パンケーキチーム）、『Chunky』（クッキーチーム）、『おもいでや』（給食チーム）をそれぞれ出店した。
 連携先：神戸平野商店街 KIKKAKE
 日程：2025年10月～2026年3月
 参加状況：16名（長坂泰之ゼミ 2年生）
- ・カフェ等の飲食店等の出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成
 概要：2年生後期に実施した平野商店街 KIKKAKE での飲食店出店時の振り返りを行い、その反省点などを踏まえ、今回は大安亭市場での飲食店出店に再度挑戦。出店メニューは、ベビーカステラ、焼き芋、たこせんなど、市場にはないものを提供。併せて、ゼミ生自らが交渉をし、実現した、神戸市内の就労支援施設が運営する焙煎事業と連携し、施設利用者とともにコーヒー販売も実施。さらなる経営能力の高みを目指すとともに、地域商業の価値創造に貢献した。
 連携先：大安亭市場
 日程：2025年10月～2026年3月
 参加状況：14名（長坂泰之ゼミ 4年生・3年生）
- ・レッドハリケーンズ大阪における集客増に向けた企画実践
 概要：連携協定を締結しているレッドハリケーンズ大阪との連携活動を2023年度から『健康サービス企画運営演習』の授業においても導入。授業では、学生の視点からプロスポーツの現場の課題を抽出し、レッドハリケーンズ大阪における“集客増”に向けた企画を提案。1月17日（土）ヤンマースタジアム長居にて、学生自ら考えた企画を現場で実践した。
 連携先：レッドハリケーンズ大阪
 日程：2025年9月～2026年1月
 参加状況：20名（山口志郎教授、青山将己准教授指導『健康サービス企画運営演習』クラス 3年生）

・ブランチ学園都市 一箱古本市

概要：2024 年度に BRANCH 神戸学園都市において実施した消費者アンケートで最も多かった「本屋がほしい」という要望を受け、常設の書店は困難でも 1 日限定の「まちの本屋」であれば、学生の手で実現できるのではないかと、という発想から生まれた企画。段ボール箱一つ分の本を持ち寄れば、だれでも店主になれる本のフリーマーケット「一箱古本市」を開催。子どもから大人まで多様な地域住民が年齢を問わず参加できる開かれた場を提供。本を通じた世代間交流の創出、地域コミュニティの活性化に貢献した。

連携先：BRANCH 神戸学園都市

日程：2025 年 11 月～2026 年 3 月

参加状況：9 名（新雅史ゼミ 3 年生）

・あなたのスポーツパフォーマンス能力は!? —プロラグビー選手と比べてみましょう—

概要：2023 年度・2024 年度に続き今年度もレッドハリケーンズ大阪のホームゲーム会場で、来場者向けの「体力測定イベント」を実施。本イベントは、プロラグビー選手のスポーツパフォーマンスを身近に感じてもらうとともに、来場者自身が選手の測定データと比較しながら自身の体力について考えるきっかけとなる体験型企画。今年度の体力測定項目は、握力・タッチスピード・ラグビーボール投球スピード、立ち幅跳び、反応時間の 5 項目。

連携先：レッドハリケーンズ大阪

日程：2025 年 12 月～2026 年 2 月

参加状況：14 名（関和俊ゼミ 2 年生、山本隼年ゼミ 2 年生）

・兵庫県立武道館 武道祭における体験型コンテンツの提供

概要：兵庫県立武道館が開催する武道祭の縁日コーナー（有料ブース）で、学生自らが企画した体験型コンテンツ（【ロープワークの技術を用いたキーホルダーの作成】）を運営した。企画立案、準備、当日運営のみでなく、参加見込み数の算定から、適切な仕入れ数の決定、原価を踏まえた価格設定に至るまで、実際の経営プロセスを主体的に担った。

連携先：兵庫県立武道館

日程：2025 年 10 月～2026 年 3 月

参加状況：8 名（与那覇秀勲ゼミ 2 年生）

・プラスチックをこれまで以上に社会に受け入れられるための施策を考える

アスカカンパニー×流通科学大学 前川ゼミ×武庫川女子大学 井口ゼミ 連携プログラム

概要：現在、世界的に「脱プラスチック」の流れが加速している一方で、現代社会のインフラを維持するためには依然として「不可欠な素材」であるプラスチックを「環境を汚すゴミ」から「社会を支え循環する資源」へと再定義し、社会全体での受容性を高めるための施策を学生視点で提案するプロジェクト。次年度も引き続き実施予定。

連携先：アスカカンパニー株式会社

日程：2026 年 3 月～

参加状況：16 名（前川明ゼミ 2 年生）

・小野市特産品認知拡大プロジェクト

概要：昨年度からの継続企画。今年度は、昨年度開発した小野市産のトマトを使った『トマト甘酒』の認知拡大や小野市に開業したアンテナショップ【jimono select いちいち】の PR、活性化に挑戦。神戸空港発着のフジドリームエアラインズの就航地で開催されるマラソン大会にて【トマト甘酒】の試飲や販売、PR 活動を実施。また、【jimono select いちいち】と連携し、トリコデルマ菌を活用して栽培された「甘くて大きいトマト」の認知拡大のため「トマト食べ比べイベント」を【いちいち】で開催。【いちいち】と小野市産トマトの認知拡大に貢献した。

・農林水産省主催『第 2 回みどり戦略学生チャレンジ近畿大会』において【特別賞】を受賞

【特別賞】：小野市アンテナショップ「いちいち」×学生プロジェクト

—トリコデルマ菌による“甘くて大きいトマト”の認知拡大—

【特別賞】：トマト甘酒の開発と販売

—産官学連携を基盤とする地域創生と持続可能な発展モデル—

連携先：小野市

日程：2025 年 4 月～2026 年 3 月

参加状況：10 名（西村典芳ゼミ 3 年生）

・猪名川町ワインプロジェクト

概要：猪名川町のぶどう農家が栽培するぶどうを活用し、加工品や特産品を充実させ、町の活性化につなげていくプロジェクトで、2023年度からの西村ゼミの継続企画。2年前にゼミ生が定植したぶどうを今年初めて収穫。これらのぶどうを併せ今年には100本以上のワインが完成。猪名川町で開催された地域イベントにおいて【いながわワインプロジェクト】のブースを出店し、開発したワインの試飲提供やアンケート調査を実施。ワインのラベルデザインは学生が担当し、ネーミングは町民からの公募で『空良（そら）しづく』に決定。地域と連携しながら学生ならではの視点を活かした商品づくり、情報発信に取り組んだ。

- ・農林水産省主催『第2回みどり戦略学生チャレンジ近畿大会』において【優秀チャレンジ賞】を受賞
- 【優秀チャレンジ賞】：「猪名川ワイン」で地域を元気に産学官連携による地域ブランド創出プロジェクト

連携先：猪名川町、島之内フジマル醸造所、AWAJISHIMA WINERY COMPLEX

日程：2025年4月～2026年3月

参加状況：10名（西村典芳ゼミ 3年生）

・播州織産地見学体験コンテンツ・ツアー造成事業

概要：昨年度取り組んだ【“兵庫の魅力” Students Treasure Hunt Project】を通して、多可町の播州織が抱える“後継者不足”という課題に着目。実際に工場を見学し、播州織の魅力を直接感じてもらい新たな価値の創造につなげることを目的に、「播州織体験ツアー」を提案。11月には学生がプロデュースした多可町の自然と伝統を満喫できる【多可町魅力満喫ツアー】を開催した。

連携先：多可町役場

日程：2025年5月～2025年11月

参加状況：3名（西村典芳ゼミ 4年生）

・アルバモス大阪高石観戦者調査プロジェクト

概要：ハンドボールチームのアルバモス大阪高石と協働し、集客増に向けた基礎資料を得ることを目的に、岸和田市総合体育館での観戦者調査を実施。次年度は収集したデータを分析し、報告書を作成するとともにアルバモス大阪高石に対して、観戦者調査の報告会、及び兵庫体育・スポーツ科学学会にてポスター発表を実施予定。

連携先：アルバモス大阪高石

日程：2025年11月～2026年3月

参加状況：9名（山口志郎ゼミ 2年生）

④地域や高校との交流・連携 活動一覧（2025年度）

・トライやる・ウィーク

概要：近隣中学校の2年生に5日間（9:30～15:30）、本学の様々な部署の仕事を体験いただく職場体験企画。

日程：2025年11月10日（月）～2025年11月14日（金）

受入状況：4名（横尾中学校、桃山台中学校）

・高校との交流

概要：課外活動団体 Libro と高校生との合同練習

伊川谷北高等学校 9件（9/10、9/25、10/6、10/29、11/14、12/17、1/15、2/4、2/6）

神戸星城高等学校 5件（9/12、10/28、11/14、1/31、2/7）

東播磨高等学校 1件（11/15）

加古川南高等学校 2件（12/19、2/5）

啓明学院高等学校 1件（1/31）

武庫川女子大学附属高等学校 1件（2/6）

概要：本学留学生と高校生との国際交流企画

須磨友が丘高等学校 3件（6/11、10/8、11/12）

育英高等学校 1件（7/9）

川西明峰高等学校 1件（11/12）

長田高等学校 4件（1/27、1/28、1/30、2/2）

・地域との交流

神戸市西区役所地域協働課と課外活動団体社会イベント隊ランニングボランティア部がマルシェを通じた地産地消の推進及び西神中央の活性化に伴い、ウェルアベニューマルシェ活性化イベントを実施。

日程：2025年8月20日

三	財務の概要
---	-------

(1) 決算の概要

① 〈貸借対照表（経年比較）〉

(単位:百万円) 百万円未満は四捨五入

資 産 の 部					
科 目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
固 定 資 産	27,519	26,404	26,727	28,875	30,902
有形固定資産	21,694	21,246	21,088	20,717	20,482
土地	10,726	10,726	10,726	10,726	10,726
建物・構築物	9,763	9,375	9,152	8,783	8,528
教育研究用機器備品	305	258	328	329	365
図書	843	835	829	816	805
管理用機器備品	58	53	51	63	57
その他	0	0	0	0	0
特定資産	4,319	4,377	4,182	4,207	4,177
その他の固定資産	1,506	782	1,457	3,952	6,243
流 動 資 産	7,924	8,940	8,512	6,092	3,672
現金預金	7,905	8,917	8,492	6,062	3,629
その他	19	23	20	30	43
資産の部合計	35,443	35,344	35,239	34,968	34,574
負 債 の 部					
固 定 負 債	1,066	1,103	1,070	1,092	1,046
退職給与引当金	1,057	1,097	1,067	1,091	1,046
その他	8	6	3	1	0
流 動 負 債	1,063	924	979	960	1,116
前受金	658	609	577	526	600
その他	405	315	401	433	517
負債の部合計	2,129	2,027	2,049	2,052	2,162
純 資 産 の 部					
基 本 金	36,233	36,366	36,606	36,705	37,065
第1号基本金	34,755	34,870	35,274	35,372	35,733
第2号基本金	146	164	0	0	0
第3号基本金	1,025	1,025	1,025	1,025	1,025
第4号基本金	307	307	307	307	307
繰越収支差額	△ 2,919	△ 3,049	△ 3,416	△ 3,789	△ 4,653
純資産の部合計	33,315	33,317	33,190	32,916	32,412
負債の部・純資産の部合計	35,443	35,344	35,239	34,968	34,574

〈主な財務比率（経年比較）〉

比率	(算式)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産}-\text{外部負債}}{\text{事業活動支出}}$	289.6%	287.1%	288.3%	285.6%	267.9%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	745.4%	967.6%	869.6%	634.8%	328.9%
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	6.0%	5.7%	5.8%	5.9%	6.3%
前受金保有比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	1202.0%	1463.8%	1470.9%	1151.5%	605.1%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	99.8%
積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	89.3%	88.0%	86.4%	83.9%	73.0%

② 〈事業活動収支計算書〉

(単位：百万円) 百万円未満は四捨五入

教育活動収支	収入の部	科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		学生生徒等納付金	3,997	3,917	3,802	3,697	3,501
		手数料	56	48	45	37	44
		寄付金	63	132	96	75	65
		経常費等補助金	508	582	572	580	699
		付随事業収入	73	78	81	89	91
		雑収入	44	54	57	62	57
		教育活動収入計	4,741	4,810	4,653	4,540	4,457
	支出の部	人件費	2,116	2,141	2,165	2,173	2,180
		教育研究経費	2,074	2,191	2,098	2,156	2,377
		管理経費	477	500	542	545	555
		教育活動支出計	4,668	4,833	4,805	4,875	5,113
	教育活動収支差額		73	△ 23	△ 152	△ 334	△ 657
教育活動外収支	収入の部	科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		受取利息・配当金	33	31	25	66	181
		教育活動外収入計	33	31	25	66	181
	教育活動外収支差額		33	31	25	66	181
経常収支差額			106	8	△ 127	△ 268	△ 476
特別収支	収入の部	科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		特別収入計	18	9	14	14	4
		特別支出計	27	15	15	20	32
	特別収支差額		△ 9	△ 6	△ 1	△ 6	△ 28
基本金組入前当年度収支差額			97	3	△ 127	△ 274	△ 504
基本金組入額合計			△ 204	△ 133	△ 240	△ 99	△ 360
当年度収支差額			△ 107	△ 130	△ 367	△ 373	△ 864
前年度繰越収支差額			△ 2,812	△ 2,919	△ 3,049	△ 3,416	△ 3,789
基本金取崩額			0	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額			△ 2,919	△ 3,049	△ 3,416	△ 3,789	△ 4,653

(参考)

事業活動収入計	4,792	4,850	4,693	4,621	4,642
事業活動支出計	4,695	4,848	4,820	4,895	5,145

〈主な財務比率（経年比較）〉

比率	(算式)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
人件費比率	人件費/経常収入	44.3%	44.2%	46.3%	47.2%	47.0%
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	43.5%	45.3%	44.8%	46.8%	51.3%
管理経費比率	管理経費/経常収入	10.0%	10.3%	11.6%	11.8%	12.0%
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入	2.0%	0.1%	△2.7%	△5.9%	△10.8%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	83.7%	80.9%	81.3%	80.3%	75.5%
経常収支差額比率	経常収支差額/経常収入	2.2%	0.2%	△2.7%	△5.8%	△10.3%

③ 〈資金収支計算書〉

(単位:百万円) 百万円未満は四捨五入

収入の部	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
学生生徒等納付金収入	3,997	3,917	3,802	3,697	3,501
手数料収入	56	48	45	37	44
寄付金収入	57	131	94	74	63
補助金収入	508	582	572	580	699
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	73	78	81	89	91
受取利息・配当金収入	33	31	25	66	181
雑収入	44	54	57	62	57
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	658	609	577	526	600
その他の収入	4,708	8,627	2,660	2,599	4,932
資金収入調整勘定	△ 706	△ 676	△ 623	△ 595	△ 559
前年度繰越支払資金	7,580	7,905	8,917	8,492	6,062
収入の部合計	17,007	21,306	16,207	15,629	15,671
支出の部	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
人件費支出	2,082	2,102	2,195	2,149	2,223
教育研究経費支出	1,518	1,646	1,559	1,598	1,846
管理経費支出	430	455	497	502	514
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	111	98	257	123	241
設備関係支出	45	27	145	91	111
資産運用支出	3,480	6,865	2,124	4,052	6,018
その他の支出	1,540	1,313	1,158	1,304	1,405
資金支出調整勘定	△ 105	△ 117	△ 221	△ 252	△ 317
翌年度繰越支払資金	7,905	8,917	8,492	6,062	3,629
支出の部合計	17,007	21,306	16,207	15,629	15,671

④ 〈活動区分資金収支計算書〉

(単位:百万円) 百万円未満は四捨五入

科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	4,735	4,810	4,651	4,539	4,454
教育活動資金支出計	4,031	4,203	4,252	4,249	4,584
差引	704	607	399	290	△ 129
調整勘定等	△ 123	△ 44	77	△ 109	89
教育活動資金収支差額	581	563	476	182	△ 41
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	0	0	164	0	0
施設整備等活動資金支出計	229	144	402	214	351
差引	△ 229	△ 144	△ 238	△ 214	△ 351
調整勘定等	△ 13	4	△ 1	82	49
施設整備等活動資金収支差額	△ 242	△ 140	△ 238	△ 132	△ 303
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	339	423	238	50	△ 343
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	4,732	8,648	2,504	2,652	5,096
その他の活動資金支出計	4,747	8,060	3,167	5,115	7,171
差引	△ 15	587	△ 664	△ 2,464	△ 2,075
調整勘定等	1	2	1	△ 16	△ 15
その他の活動資金収支差額	△ 14	589	△ 662	△ 2,480	△ 2,090
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	325	1,012	△ 424	△ 2,430	△ 2,433
前年度繰越支払資金	7,580	7,905	8,917	8,492	6,062
翌年度繰越支払資金	7,905	8,917	8,492	6,062	3,629

〈主な財務比率(経年比較)〉

比率	(算式)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 /教育活動資金収入計	12.3%	11.7%	10.2%	4.0%	△0.9%

(2) その他

①資産の運用状況

1) 総括表

(単位:円)

	当年度(令和8年3月31日)		
	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を 超えるもの	500,000,000	504,200,000	4,200,000
(うち満期保有目的の債券)	500,000,000	504,200,000	4,200,000
時価が貸借対照表計上額を 超えないもの	4,403,258,000	4,207,614,200	△ 195,643,800
(うち満期保有目的の債券)	4,403,258,000	4,207,614,200	△ 195,643,800
合 計	4,903,258,000	4,711,814,200	△ 191,443,800
(うち満期保有目的の債券)	4,903,258,000	4,711,814,200	△ 191,443,800
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	4,903,258,000		

2) 明細表

(単位:円)

種 類	当年度(令和8年3月31日)		
	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
債 券	4,903,258,000	4,711,814,200	△ 191,443,800
株 式	—	—	—
投資信託	—	—	—
その他	—	—	—
合 計	4,903,258,000	4,711,814,200	△ 191,443,800
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	4,903,258,000		

※デリバティブ取引 なし

②学校債の状況

該当ありません。

③寄付金の状況

特別寄付金 63,028,790 円
現物寄付 2,208,519 円
施設設備に係る現物寄付 3,779,491 円

④補助金の状況

国庫補助金 698,402,000 円
地方公共団体補助金 1,059,093 円

⑤収益事業の状況

該当ありません。

〔3〕経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

〈経営状況の分析〉

2025年度の事業活動収支は、経費面では必要経費の選択と集中に努め、計画範囲内で実行しました。投資面では、講義棟VI空調機更新工事、図書館棟チラー空調システム更新工事等を実施しました。その結果、当年度経常収支差額は約4億7千6百万円の超過になりました。なお、主な財務比率は以下のとおりです。

- ・人件費比率 47.0%
- ・教育研究経費比率 51.3%
- ・管理経費比率 12.0%
- ・経常収支差額比率 Δ 10.3%

〈経営上の成果と課題〉

（成果）

- ・積極的に資金運用を行った結果、昨年より約1億2千万円増加しました。
- ・「教育の質の指標」に基づく一般補助の増減率は1%アップしました。ただし、昨年補助金交付額（修学支援新制度分は除く）は約2千1百万円減少しました。

（課題）

- ・経常収支が約4億7千6百万円の支出超過になっており、収支均衡を目指すためには更なる経費コントロール等が必要です。

〈今後の方針・対応方策〉

中内学園中長期計画（2025～2029年度）に定めた中期財務計画に基づき、今後の18歳人口減少及び物価高等、より一層厳しさを増す外部環境を十分に考慮し、教学・人事・施設設備の大目標達成に向けた経費コントロールを行ってまいります。

附 属 明 細 書

【事業報告の附属明細書】

令和7年度の事業報告には、「私立学校法」103条第2項及び「施行規則」第29条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。